

平成28年2月定例会

# 議案説明資料 予算に関する説明書

( 平成28年度当初予算関係 )

## 観光交流局

\*各事業の説明資料の「本年度」の欄は来年度の当初計上額  
「前年度」の欄は今年度の6月補正後予算額  
「比較」の欄は「本年度」－「前年度」の額

\*トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

また、人役については、表示単位未満を四捨五入で表示しており、結果が0.0人役となるものについては、人件費を0としています。

平成28年2月定例会 議案説明資料目次

観光交流局

【予算関係】

(一般会計)

議案番号	件名	課名等	頁
第 1 号	平成28年度鳥取県一般会計予算		
	1 当初予算説明資料	(総括表)	1
		観光戦略課	2
		交流推進課	40
		まんが王国官房	53
	2 歳入歳出事項別明細書		55
	3 節の明細		57
	4 債務負担行為に関する調書	観光戦略課 他	59

## 議案説明資料総括表

観光交流局(単位:千円)

課名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光戦略課	1,183,989	1,442,905	△258,916	1,920		58,236	1,123,833	
交流推進課	414,745	419,053	△4,308			55,156	359,589	
まんが王国官房	106,914	293,438	△186,524			20	106,894	
合計	1,705,648	2,155,396	△449,748	1,920		113,412	1,590,316	

## 平成28年度の主な事業

## (観光戦略課)

- ・(新)山陰DMO「山陰観光推進機構(仮称)」設立・運営事業 12,500千円
- ・(新)県内観光推進組織連携事業 1,850千円
- ・(新)高齢者、障がい者等に優しい旅づくり推進事業 4,930千円
- ・(新)自然を体感するニューツーリズム(エコツー・スポーツツーリズム等)  
全県展開戦略事業 7,500千円
- ・スポーツツーリズム推進事業(ウォーキングリゾートの推進) 33,609千円

## (交流推進課)

- ・(新)オリンピックホストタウン(ジャマイカ交流)推進事業 25,866千円
- ・(新)沿海地方友好交流25周年記念事業 5,969千円
- ・(新)河北省友好提携30周年記念事業 5,321千円
- ・(新)第二アリアンサ鳥取村入植90周年記念事業 4,379千円

## (まんが王国官房)

- ・まんが王国発ソフトパワー事業 106,914千円

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
 2項 企画費  
 2目 計画調査費

観光戦略課（内線：7239）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
鳥取県立夢みなとタワー管理委託費	116,051	135,349	△19,298				116,051							
トータルコスト	117,611千円（前年度 136,902千円）[正職員：0.2人]													
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、指定管理料の支払、実績報告書の審査、修繕等の発注等													
工程表の政策目標(指標)	経済波及効果の大きい大規模な催し、会議等の誘致を促進する。													
事業内容の説明														
<p><b>1 事業の目的・概要</b>                  夢みなとタワーの管理運営を指定管理者により実施する。                  ・指定管理者：一般財団法人鳥取県観光事業団                  ・指定期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日</p> <p><b>2 主な事業内容</b>                  (1) 指定管理料 <span style="float: right;">113,286千円</span>                  (参考) 5か年分の指定管理料(上限額) 592,145千円</p> <p>(2) 備品更新 <span style="float: right;">(単位：千円)</span></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">内 訳</th> <th style="text-align: center;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シアター内音響設備更新</td> <td style="text-align: right;">2,765</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">2,765</td> </tr> </tbody> </table>									内 訳	予算額	シアター内音響設備更新	2,765	合 計	2,765
内 訳	予算額													
シアター内音響設備更新	2,765													
合 計	2,765													

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
 2項 企画費  
 3目 交通対策費

観光戦略課 (内線：7237)  
 (単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
国内航空便利用対策促進事業	34,000	59,700	△25,700				34,000									
トータルコスト	41,798千円 (前年度：67,465千円) [正職員：1.0人]															
主な業務内容	県内航空路線を活用した県外からの観光客誘客促進															
工程表の政策目標(指標)	鳥取・米子両空港、県内外の鉄道及び高速道路ネットワークを活用し、近隣県の観光資源と連携した周遊ルートの造成や、マンガ関係施設を巡る旅行等のテーマを設定した広域的な周遊ルートの造成等により、観光客の増加を目指す。															
事業内容の説明																
<p>1 事業の目的・概要                  鳥取県内航空路線を利用し、県外観光客の誘致促進を図るため、首都圏等を対象とした路線及び観光PRを実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅行社と連携した観光情報発信</td> <td>・旅行社店頭での鳥取県観光誘客キャンペーン ・旅行社と連携した鳥取県路線・観光キャンペーン情報のウェブ、店頭での発信</td> </tr> <tr> <td>国内線を活用した海外からの誘客促進</td> <td>・羽田空港乗り継ぎ等による海外からの観光客誘客のための情報発信 (アジアなどからの首都圏乗り継ぎでの誘客促進)</td> </tr> <tr> <td>WEB旅行社連携による誘客促進</td> <td>・大手宿泊予約サイト運営会社と連携した個人旅行客取り込みのための鳥取県観光情報発信 (春季・冬季にターゲットを絞った誘客を展開)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※テレビ・雑誌等を活用した誘客促進については、別事業(観光情報提供事業)等を活用して実施する。                  ※平成27年11月補正予算にて債務負担行為設定済                  (個人向け旅行者誘致のための宿泊及び観光情報発信事業 6,000千円)</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点                  県内の2空港(「鳥取砂丘コナン空港」「米子鬼太郎空港」)はまんがキャラクターの名前がつく珍しい空港である。このことを鳥取県の観光情報の発信に活用し誘客を行った。                  また、鳥取砂丘コナン空港は「羽田空港発着枠政策コンテスト」により2年間限定で1日5往復に増便されていたところであるが、その期間が更に2年間延長された(平成30年3月末まで)。これは、利用者の利便性向上につながるものであり、観光客誘客に資するものである。                  今後も引き続き県内2空港を活用した首都圏等からの観光客誘客に努めていく。</p>									区 分	内 容	旅行社と連携した観光情報発信	・旅行社店頭での鳥取県観光誘客キャンペーン ・旅行社と連携した鳥取県路線・観光キャンペーン情報のウェブ、店頭での発信	国内線を活用した海外からの誘客促進	・羽田空港乗り継ぎ等による海外からの観光客誘客のための情報発信 (アジアなどからの首都圏乗り継ぎでの誘客促進)	WEB旅行社連携による誘客促進	・大手宿泊予約サイト運営会社と連携した個人旅行客取り込みのための鳥取県観光情報発信 (春季・冬季にターゲットを絞った誘客を展開)
区 分	内 容															
旅行社と連携した観光情報発信	・旅行社店頭での鳥取県観光誘客キャンペーン ・旅行社と連携した鳥取県路線・観光キャンペーン情報のウェブ、店頭での発信															
国内線を活用した海外からの誘客促進	・羽田空港乗り継ぎ等による海外からの観光客誘客のための情報発信 (アジアなどからの首都圏乗り継ぎでの誘客促進)															
WEB旅行社連携による誘客促進	・大手宿泊予約サイト運営会社と連携した個人旅行客取り込みのための鳥取県観光情報発信 (春季・冬季にターゲットを絞った誘客を展開)															

平成28年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
3 目 交通対策費

観光戦略課 (内線: 7310)  
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便就航促進事業	12,750	55,716	△42,966				12,750	
トータルコスト	22,887千円 (前年度65,811千円) [正職員: 1.3人]							
主な業務内容	国際航空路線の誘致活動の実施など							
工程表の政策目標(指標)	チャーター便の促進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

外国人観光客増加による県内観光消費の伸長と、本県観光産業のさらなる発展のため、県内空港利用によるチャーター便を活用したツアーやチャーター機着陸料等の支援など、東アジア地域等からの国際チャーター便の誘致活動に取り組む。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容			
「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援	5,000	区 分	インバウンドチャーター	アウトバウンドチャーター	
		対 象	航空会社	旅行会社	旅行会社
		支援条件	・東アジア地域等から県内空港へのインバウンドチャーター ・県内宿泊施設で1泊以上宿泊		県内空港発着のアウトバウンドチャーター便を利用したツアー
		支援内容	着陸料等 3/4 支援	ツアー客1名につき	5,000円
		限度額	着陸1離着陸当たり 20万円	チャーター1機当たり 100万円	チャーター1機当たり ・座席数200席未満 50万円 ・座席数200席以上 100万円
		〈連続チャーターへの追加支援〉 ・支援条件: 1か月3離着陸以上運航 ・支援内容: 空港ビル使用料10/10支援 ・限度額: 1離着陸14万円、1か月100万円			
		支援方法	観光誘客促進団体等を通じて支援		空港利用促進懇話会を通じて支援
計	5,000千円	※交通政策課要求			
グリーンツーリズムジェット委託事業	3,000	季節チャーター便として連続3離着陸以上の運航を行う航空会社及び同企画に併せて本県の観光素材を活用した商品を造成する旅行会社と協働して、本県の魅力を国外にPRする。 〈支援目安: 上限1,500千円/社×2社(航空会社・旅行会社)〉			
チャーター便誘致に向けた取組	50	・空港サポート通訳業務 50千円			
	1,500	・アウトバウンド広告支援(新規) 日本人向けツアー造成(広告費)に対する経費支援			
	3,200	・ビジネスマッチング支援(新規) チャーター便を利用し相手国で商談会を行う際の会場代等の経費支援			
計	12,750				

3 これまでの取組状況、改善点

積極的かつ継続的なエアポートセールスにより、香港などのチャーター便の就航が促進し、定期便の具体化に繋がった。引き続き、多くのエリアからのチャーター便を誘致し、海外インバウンドの促進に努める。

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
 2項 企画費  
 3目 交通対策費

観光戦略課（内線：7221）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
米子空港国際定期航路利用促進対策費	81,203	81,203	0				81,203	
トータルコスト	95,239千円（前年度 95,180千円） [正職員：1.8人]							
主な業務内容	アジアナ航空・韓国観光公社等関係機関との連絡・調整ほか							
工程表の政策目標(指標)	米子ソウル国際定期便の自立・発展							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰初の国際定期航空路線である米子-ソウル便の安定運航を図るため、同便を運航するアジアナ航空に対して米子空港の着陸料、施設使用料等の経費を支援するとともに、山陰両県の官民で組織する国際定期航路利用促進委員会（仮称）の一員として同便の利用を促進する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
(1) アシアナ航空に対する支援	71,203	○補助対象経費 ・着陸料、保安料、航行援助施設利用料（3/4） ・空港ビル施設使用料（10/10） ※（ ）内は補助率
(2) 国際定期航路利用促進委員会（仮称）負担金	10,000	○国際定期航路利用促進事業（日本から韓国への利用促進対策） ・団体旅行支援 ・パスポート取得支援 ・修学旅行貸切バス支援 ・商品造成支援 ・情報発信、広報 ※全体事業費 30,000（内訳：鳥取県10,000、市町村等20,000）
合 計	81,203	

[参考] 米子ソウル便利用実績（平成27年4月～平成27年12月）

提供座席数	搭乗座席数	搭乗座席数の内訳			搭乗率
		日本人	韓国人	その他	
(38,990席)	(19,550席)	(6,785席)	(12,298席)	(467席)	(50.1%)
37,426席	24,967席	4,555席	20,014席	398席	66.7%

※（ ）は前年実績

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

3目 金融対策費

観光戦略課（内線：7421）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光開発促進資金融資制度	18,445	20,524	△2,079			(貸付金元利収入) 18,445		
トータルコスト	18,445千円（前年度 20,524千円）[正職員：0.0人]							
主な業務内容	市町村、事業者、金融機関との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b></p> <p>観光振興を図るため、県内で観光・レクリエーション等の用に供する施設整備を行う中小企業に対し、その必要な資金の一部を融資する。</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>金融機関に対し資金を融資することで、企業に低利の貸付を実施する。</p> <p>・貸付金 18,445千円</p> <p>※ 平成18年度以降の新規融資については、鳥取県企業自立サポート事業「企業自立化支援資金（商工労働部企業支援課）」に移行しており、本事業分は既融資分（5件）に係る経費である。</p>								



# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰DMO「山陰観光推進機構（仮称）」設立・運営事業	12,500	0	12,500				12,500	
トータルコスト	31,215千円（前年度 0千円）[正職員：2.4人]							
主な業務内容	山陰DMOを核としたインバウンド観光振興（ブランドづくり、PR等）							
工程表の政策目標（指標）	DMOを核とした連携により、観光地域づくりと外国人誘客促進を目指す。							

## 事業内容の説明

### 1 事業の目的・概要

「観光地マネジメント」の視点に立った地域の磨き上げと、増加している外国人観光客の誘致を促進するため、「山陰」を対象エリアとした観光地域づくり組織「山陰観光推進機構（仮称）」（San-in Tourism Organization）（山陰DMO）を設立する。

山陰DMOは、山陰における外国人受入体制の強化と、山陰一体となった海外プロモーションの展開等により、山陰広域観光周遊ルートのPRと、「山陰ブランド」の確立を目指す。よって、県内各圏域の観光地づくりや旅行の斡旋などきめ細かな対応を行う圏域DMOや観光協会等と連携することで、山陰地域全体の観光地マネジメントを行っていく。

なお、山陰DMOの事業費については、鳥取県、島根県が同額を負担する。

### 2 主な事業内容

（単位：千円）

項目	内 容	全体事業費計	うちH27年2月経済対策分	うちH28年度当初予算分
山陰ブランドづくり・戦略策定	山陰各地域の魅力を発掘し、地域住民を巻き込んだブランドづくりを行う。また、山陰DMOの戦略策定や、山陰地域限定特例通訳案内士の養成など、外国人観光客受入体制の整備等を行う。	20,700	20,700	
国外向け事業	海外に向けた情報発信と、山陰両県の誘客重点エリアにおけるプロモーション活動等により、山陰のPRを行う。また、クルーズ客船寄港による本県への経済波及効果を引き出すため、クルーズ客船のオプションバスツアーを催行する旅行会社等に対し、バス借上料を支援する。	83,800	58,800	25,000
国内向け事業	山陰両県共同での観光情報説明会や、両県を旅するプランの造成支援、さらには旅行雑誌等での山陰PR等を行う。	17,500	17,500	
管理費	山陰DMOの代表理事及び契約社員の人件費、事務所借上代、機構の運営に係る事務費、活動経費等	47,000	47,000	
計		169,000 （うち鳥取県分） 84,500	144,000 （うち鳥取県分） 72,000	25,000 （うち鳥取県分） 12,500

### 3 これまでの取組状況、改善点

平成27年の日本全体のインバウンドの状況については、年間訪日外国人客数が1,973万人で対前年47%増と大幅な伸びを見せており、「訪日外国人2,000万人」を目前に迎えようとしている中、平成26年の山陰両県の外国人宿泊客数は、両県で71千人と、国全体のシェアの0.2%にも満たない状況であり、外国人観光客による消費拡大、雇用の確保等さらなる誘客が必要である。

山陰DMO設立にあたっては、平成27年度に「地方創生先行型交付金（広域連携型）」を獲得し鳥取、島根両県で連携して、山陰広域観光周遊ルート策定に係る基礎調査、山陰DMOの業務内容等について検討を行っている。

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
 3項 観光費  
 1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 県内観光推進組織連携事業	1,850	0	1,850				1,850	
トータルコスト	5,749千円（前年度 0千円）〔正職員：0.5人〕							
主な業務内容	事業の企画、関係組織との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	DMOを核とした連携により、観光地域づくりと外国人誘客促進を目指す。							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b>                      平成28年4月に設立予定の山陰DMO「山陰観光推進機構（仮称）」と県内各圏域DMOが連携し、効率的かつ確実に地域の魅力を提供する仕組みづくりを確立するため、県内各圏域DMOの機能向上を目的とした連携検証事業や受入体制の強化事業を実施する。</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>(1) 県内DMO連携検証事業 1,400千円                      外国人モニターツアーを受け入れ、山陰DMOと県内各圏域DMOとの連携の確認及び課題の検証を行う。                      &lt;事業内容&gt; DMO連携検証事業委託                      平成27年度末に策定する、山陰広域観光周遊ルートにより、3泊4日のモニターツアーを実施する。</p> <p>(2) 県内観光客受入体制強化事業 450千円                      地域づくり分野の学識経験者、または、先進的DMOの経営者等を招いた実地指導を実施し、DMO運営に対する知識、ノウハウの蓄積と、DMOとしての機能向上を図る。                      &lt;事業内容&gt; DMO業務実地指導                      地域づくり分野の学識経験者や、先進的DMOの経営者等、プロによる実地指導を行う。（圏域DMOの業務を実際に見てもらい、指導・助言をしてもらう。）</p> <p><b>3 これまでの取組状況、改善点</b>                      国内外の観光客の獲得と、持続可能な地域経済の発展に向けて、地域全体の観光マネジメントを行う組織（DMO（観光地域づくり法人））の整備が求められている。                      平成27年度は、地方創生先行型交付金を活用して、県内各圏域、また、山陰圏域についても、DMO設立に向けた準備が進められている。</p>								

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課(内線:7273)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 高齢者、障がい者等に優しい旅づくり推進事業	4,930	0	4,930				4,930	
トータルコスト	6,490千円(前年度 0千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	関係先との連絡調整、契約事務							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

### 事業内容の説明

#### 1 事業の目的・概要

高齢者や障がいのある方も楽しく観光いただける魅力的なコース設定や来訪したくなる情報の発信等に取り組む。

#### 2 主な事業内容

(1) 魅力的なツアーコースの造成・販売事業 2,930千円

(単位:千円)

区 分	予算額	内 容
バリアフリー調査によるモデルコースの設定	770	鳥取県内でバリアフリー観光支援に取り組む民間団体等と連携し、高齢者や障がい者が楽しく観光できる新たな観光コースの設定を行う。
旅行会社による企画募集ツアーの造成・販売	2,160	県外旅行会社に対して、企画募集ツアーの造成・販売の働きかけ(ファムツアーの実施等)を行う。
計	2,930	

(2) ユニバーサル観光地「とっとり」の発信事業 2,000千円

バリアフリー旅行商品(モニターツアー等)を造成した旅行会社と連携し、WEB等を活用した情報発信を行う。

#### 3 これまでの取組状況、改善点

全国障がい者芸術文化祭の際には、県外の障がい者団体等に本県のバリアフリー観光モデルコースを案内するとともに、県内観光関係者を対象に「あいサポーター研修」を行った。高齢者や障がいのある方も楽しく観光いただけるコース設定や情報発信に努める等、引き続き、おもてなし態勢の整備に取り組んでいく。

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

## 7款 商工費

### 3項 観光費

観光戦略課（内線：7239）

#### 1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 自然を体感するニューツーリズム(エコツー・スポーツツーリズム等) 全県展開戦略事業	7,500	0	7,500			(基金繰入金) 7,500		
トータルコスト	12,958千円（前年度 0千円） [正職員：0.7人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関等との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

#### 事業内容の説明

【「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】

#### 1 事業の目的・概要

サイクルツーリズムの全県展開を行うため、県東・中部にもサイクリングコースを作成するとともに、自然を満喫する新しい旅のスタイル「ジャパンエコトラック」の利便性向上などを進め、「サイクリングリゾートとっとり」のブランド化を図りつつ、新たな鳥取ファン獲得を目指す。

#### 2 主な事業内容

##### (1) サイクルツーリズムの全県展開 2,000千円

県西部だけでなく、東部・中部にもそれぞれの地域の特色を活かしたサイクリングコースを作成することで、サイクリングによる周遊が県内全域に広がり、滞在時間の延長や宿泊日数の増加をはじめ、リピーターの確保や様々な魅力の発信、初心者から上級者まで幅広い集客が期待できる。

##### ① 受入環境の整備等に向けた基礎調査

・サイクリストコース設定に向け、地域の情報（観光施設や休憩スポット（トイレ等）、飲食店、自転車店（修理等）など）についての基礎調査を行い、具体的な情報を取りまとめる。

##### ② サイクリングコース（案）の作成

・道路事情等を勘案し、基幹道路を軸とするルートその他、当該地域の見どころも織り込み、滞在周遊にも考慮した温泉地など宿泊地、道の駅等を起点としたコース（案）を作成する。  
・それぞれのコース（案）においては、総走行距離や目安となる所要時間、ポイント間距離、高低差、危険箇所等について、具体的な情報を取りまとめる。

##### (2) ジャパンエコトラック等推進事業 5,500千円

ジャパンエコトラック推進協議会が提唱、創設する自然を満喫する新しい旅のスタイル「ジャパンエコトラック」において、第1号認定を受けた本県ルート（境港～皆生～大山）への一層の誘客を図るため、国内外に向けた当該ルートの受入環境整備に取り組む。

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
ガイドマップの作成・配布	1,000	・認定コースや沿線の協力店など観光情報を掲載したガイドマップ（外国語版含む）を国内外へ配布。
協力店の拡大、充実	1,000	・ツーリストの休憩所、優待特典の提供等の取組に賛同する店舗等にバイクスタンド、修理工具等を設置。
タクシーレスキュー等の試行	1,000	・緊急時のサポート体制の構築に取り組む。
サイクルトレイン・バスの試行	1,000	・他の交通機関と自転車との乗り換えができる環境整備に向けたサイクルトレイン・バスの試行に取り組む。
エコトラック推進組織への参画	500	・「ジャパンエコトラック推進協議会」への加盟。
広域サイクリングルートの検討等	1,000	・鳥取、広島、島根、愛媛で広域サイクリングルートの検討、サイクリングを活用した相互誘客を実施。
合 計	5,500	

#### 3 これまでの取組状況、改善点

- ・県西部地域において、複数のサイクリングコースにおける案内標示や休憩スポットの整備など、先んじてサイクルツーリズムの取組が進められてきた。
- ・本県の境港～皆生～大山を結ぶルートが平成26年11月に「ジャパンエコトラック」の第1号ルートと認定された。
- ・県内の他地域でも機運が高まってきたことから、サイクルツーリズムの全県展開を図っていく。

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

## 7款 商工費

### 3項 観光費

#### 1目 観光費

観光戦略課(内線:7273)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自然を体感するニューツーリズム全県展開戦略事業(とっとり新たな旅づくり事業)	5,240	0	5,240			(基金繰入金) 5,240		

トータルコスト 6,800千円(前年度 0千円) [正職員:0.2人]

主な業務 補助金交付業務、関係先との調整

工程表の政策目標(指標) 地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。

事業内容の説明 【「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】

### 1 事業の目的・概要

鳥取県の津々浦々までお客様が観光周遊し、地域の消費喚起と新たな観光循環を起こす「とっとり新たな旅づくり」のため、地域のすぐれたお宝の観光商品化と周遊の仕組みづくりを行う。

### 2 主な事業内容

昨年度(H26年度臨時経済対策で予算計上)からの継続エリアとともに、新たなエリアを追加し、多業種・広域グループによるミーティングを通じて、専門家の助言を受けながら、地域が誇る良いものを洗い出し、従来とは異なる観光商品の開発や販売支援等とともに、既定観光商品や移動手段と組み合わせたエリア内での周遊コース、滞在プランを造成し、流通に乗せていく取組に対し支援を行う。

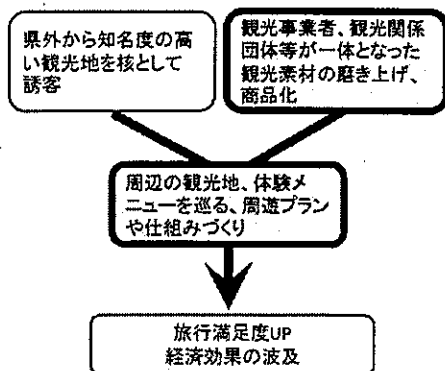
#### (1) 継続エリアへの支援

事業主体	(公社)鳥取県観光連盟
事業費	3,240千円(補助・定額)
エリア	八頭・若桜、琴浦、日野郡
内容	新たなグルメメニューの開発等のテーマにより、選定した観光資源の試験販売やその結果による商品改良等による「売れる化」の実現に取り組む。

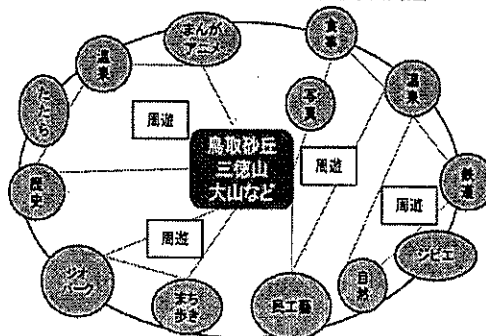
#### (2) 新規エリアへの支援

事業主体	(公社)鳥取県観光連盟
事業費	2,000千円(補助・定額)
エリア	主要観光地や大規模温泉地の魅力づくりを目指す主要観光地(想定)
内容	テーマやターゲットを設定し、既存の観光商品の磨き上げや組合せによる商品化、新規の観光商品化等により、周遊ルート・滞在プランづくりを行う。

### 〈事業イメージ〉



例: 知名度の高い観光地からはじまる県内周遊



### 3 これまでの取組状況、改善点

実施エリアにおいて地域商品開発プロジェクトを立ち上げ、地域資源の洗い出しとともに、それらに対する市場の認知度等を把握するマーケティング調査を行い、各エリアで取り組む観光資源について方向性を決め、市場投入の準備に取り組んできた。新規エリアで同様の取組を進めるとともに、継続エリアにおいては、より消費者に受け入れられるような商品やサービスに磨き上げる等、「売れる化」の実現に取り組む。

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光戦略課（内線：7421）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
未来に引き継ごう！ 県民の歴史資産 「三徳山」調査活用推 進事業	3,225	4,447	△1,222				3,225	
トータルコスト	7,124千円（前年度 8,330千円）[正職員：0.5人]							
主な業務内容	関係者との連絡調整、会議開催・資料作成、調査研究の推進、講演会等の事業実施、補助金交付業務等							
工程表の政策目標（指標）	三徳山の世界遺産登録等により、鳥取県と周辺地域（関西、中四国等）を周遊する観光客の増加を目指す。							
<p><b>事業内容の説明</b></p> <p><b>1 事業の目的・概要</b> 鳥取県を代表し、大山・隠岐国立公園へ編入がなされた文化財である三徳山は、平成27年4月に日本遺産に認定された。今後は、世界遺産登録も視野に入れつつ、地元関係者と連携し、調査研究を進めるとともに、保安全管理の取組や観光振興、まちづくりへの活用を推進する。 ※日本遺産：地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化し、日本の文化・伝統を語るストーリーを認定する仕組み。文化財群を地域主体で総合的に整備・活用し、世界に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図るもの。</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>(1) 三徳山世界遺産登録運動推進協議会・各部会の開催 三徳山世界遺産登録運動推進協議会、各部会（調査研究部会、情報発信部会、保存管理活用部会）で官民一体となり、世界遺産登録運動を総合的に推進する。</p> <p>(2) 情報発信・機運醸成（情報発信部会－事務局：鳥取県中部総合事務所地域振興局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会等開催</li> <li>・文化資産学習会開催支援事業 補助対象事業：住民等が自ら企画・開催する三徳山等の文化資産の学習会 補助対象者：公民館、住民団体等 補助金額：定額（上限5万円） 8団体を予定</li> </ul> <p>(3) 調査研究（調査研究部会－事務局：鳥取県教育委員会文化財課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三徳山の総括的研究</li> <li>・鳥取県中部における中世寺院に関する研究</li> <li>・三朝町実施の調査事業の支援 三徳山内の遺構を確認するための発掘・測量調査</li> </ul> <p>(4) 保存管理活用（保存管理活用部会－事務局：三朝町教育委員会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元が中心となって行う保存管理活用の取組の支援（有識者等の招へい等）</li> </ul> <p>(参考) 三徳山世界遺産登録運動推進協議会 設立：平成16年3月 会長：三朝町長 構成：中部市町、県、三徳山を守る会、三仏寺、倉吉商工会議所、倉吉ユネスコ協会等 役割：世界遺産登録を総合的な視点から協議 三徳山の保存管理活用に向けた行動計画の策定</p>								

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光振興費	46,503	41,936	4,567	1,920		(使用料) 3 (手数料) 97 (雑入) 8	44,475	
トータルコスト	65,218千円（前年度 63,678千円）〔正職員：2.4人、非常勤職員2.0人〕							
主な業務内容	他府県や市町村との連絡調整、旅行業者の指導・育成、観光統計資料の調査・整理等							
工程表の政策目標(指標)	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>魅力ある観光地をつくり、観光による誘客を推進するため、より一層のおもてなしの向上を図る取組等を推進する。また、観光振興施策の企画・立案のため、本県の観光客数、出発地、観光の動機などについて調査を行う。</p>								
2 主な事業内容								
（単位：千円）								
区 分	予算額	内 容						
ようこそようこそ鳥取県運動推進協議会	164	おもてなし研修会等の開催に係る経費						
観光客入込動態調査の実施	2,733	本県への観光客数、出発地、観光の動機などについての統計調査						
各種観光振興団体への負担金	2,162	各種観光団体が行う観光施策等に効果的に参画するため負担金を支出						
砂丘西側用地の管理	4,151	松くい虫被害木の伐採等の管理						
観光案内看板の管理	1,000	観光案内看板の整備、情報更新						
フィルムコミッション業務補助	4,300	鳥取県におけるフィルムコミッションの窓口業務を行う鳥取県観光連盟への補助						
トリピー製作	600	トリピーの着ぐるみ製作費						
事務費	31,393	国際リゾートとっとり推進協議会開催等に係る経費 その他事務経費						
計	46,503							

平成28年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費  
 3 項 観光費  
 1 目 観光費

観光戦略課（内線：7421）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
コンベンション誘致促進事業	54,252	52,202	2,050				54,252	
トータルコスト	55,032千円（前年度 52,979千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	(公財)とっとりコンベンションビューローへの指導。調整交付金・補助金交付事務、実施主体との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	経済波及効果の大きい大規模な催し、会議等の誘致を促進する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

(公財)とっとりコンベンションビューローに対して、コンベンション誘致に要する経費を助成する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	予算額	内容
運営費交付金	27,402	(公財)とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する。(負担率 県1/2・4市1/2)
コンベンション開催助成費補助金	26,850	コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る。(負担率 県1/2・開催市町村1/2)

3 これまでの取組内容、改善点

県内産業の振興、地域活性化、国際的相互理解の増進及び文化の向上等を図るため、県内全域を対象にしたコンベンションの誘致促進を行ってきた。

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を控え、スポーツに対する意識が高まる中、一層のスポーツ大会等の誘致を進めていくほか、ビジネス客の取り込みにつながるMICEの誘致活動を積極的に進めていく。



# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7421)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県観光連盟運営費	94,290	88,229	6,061				94,290	
トータルコスト	95,850千円 (前年度 89,782千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	負担金の交付、連絡調整							
工程表の政策目標 (指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

## 事業内容の説明

### 1 事業の目的・概要

(公社) 鳥取県観光連盟に対し、人件費の全額と事業費の1/2を負担するほか、観光キャンペーンの実施及び商品造成の働きかけ・観光情報の発信等を行い、積極的な誘客を図るなど、観光客誘致に関する取組を強化する。

### 2 主な事業内容

(1) 運営費負担金 93,290千円

区分	内容
人件費	県10/10 (組織体制) 専務理事 (県派遣)、事務局長、課長 (2名うち1名県派遣) 観光プロモーター (3名)、書記 (6名うち3名が正職員)
事業費	県1/2 (1) 地域受け地づくり対策推進事業 ・着地型旅行商品販促、体験型商品企画支援 ・広域観光機能強化事業 など (2) 観光客誘致対策強化事業 ・旅行エージェント招致、観光情報説明会開催 ・観光プロモーター活動事業 など (3) 観光誘客キャンペーン事業 ・交通事業者との観光キャンペーン ・観光親善大使による誘客活動 (4) 情報発信・宣伝事業 ・各種観光パンフレット制作、ホームページ ・旅行エージェント向け観光素材集制作 (5) 会員等との誘客連携事業 ・他団体との協働・連携事業、主題別・地域別専門部会事業

(2) 鳥取県観光連盟ホームページ改修委託 1,000千円

鳥取県観光連盟に一元化されてから5年目を迎える観光情報ホームページを改修し、アクセス性の向上等の機能強化を行うことで、情報発信力のさらなる強化を図る。

### 3 これまでの取組内容、改善点

平成21年度に鳥取県観光連盟の業務を見直し、機動的な対応が必要な業務、民間事業者との連携が必要な業務などを段階的に移管し、平成24年度には観光商品造成支援業務、観光ホームページの運営及び観光パンフレット等の作成、平成25年度には観光ニュースの発行、SNS※を活用した観光情報発信業務を移管した。また、平成26年度より書記の正職員化を進め、組織体制の強化を図っている。

平成28年度はさらに1名の正職員の増員を進め、着実な体制強化による観光魅力づくり・誘客促進を図る。

※SNSとは

Social Networking Service (ソーシャルネットワークサービス) の略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制のWEBサービスのこと。代表例としてFacebook、Twitter等がある。

平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光情報提供事業	50,077	52,965	△2,888				50,077	
トータルコスト	61,774千円（前年度 64,613千円）[正職員：1.5人]							
主な業務内容	マスコミへの情報提供、取材の受け入れ							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取ならではの魅力を全国に訴えるため、新聞・雑誌・テレビ等の各種媒体を通じて、本県の魅力を県外へ情報発信する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区 分	予算額	内 容
マスコミ（テレビ・雑誌等）への情報提供や売り込み活動、PRキャラバン隊	41,020	テレビ番組・情報誌・旅雑誌・自動車専門誌企画等を活用した情報発信、駅構内・空港・高速道路サービスエリア等でのイベント展開など
番組記事制作負担金	2,400	テレビ番組、雑誌取材記事の制作に係る金額の一部を負担することによるメディア露出
マスコミの取材受け入れ	1,500	マスコミ関係者の取材招へい
マスコミへのプレゼント供与	500	視聴者・読者プレゼント
とっとり観光親善大使の観光イベント等への参加	775	とっとり観光親善大使の派遣費用
事務費	3,882	
合 計	50,077	

※平成27年11月補正予算にて債務負担設定済

（テレビ番組を活用した観光情報発信業務 10,000千円）

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「ぐるっと山陰」誘客促進事業	35,000	25,000	10,000				35,000	
トータルコスト	37,339千円（前年度 25,000千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標（指標）	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

**事業内容の説明**

**1 事業の目的・概要**

本県への旅行商品造成及び宿泊を伴うバスツアー造成に対して支援する。

**2 主な事業内容**

**(1) バス旅行商品支援**

鳥取県観光連盟のプロモーター（県外本部駐在）を活用した、県外旅行会社へのバス旅行商品造成の働きかけを行う。

交付対象者	公益社団法人 鳥取県観光連盟
補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社がツアー催行した場合の経費支援 （バス1台当たり30千円程度を想定）
補助率、限度額	10/10 20,000千円（定額）

※平成27年11月補正予算において債務負担設定済

**(2) 旅行商品造成支援**

ア 鳥取県観光連盟のプロモーターを活用した、県外旅行会社への旅行商品造成の働きかけを行う。

交付対象者	公益社団法人 鳥取県観光連盟
補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社が旅行商品造成した場合の経費支援 （旅行商品造成1件あたり500千円程度を想定）
補助率、限度額	10/10 10,000千円（定額）

※平成27年度11月補正予算において債務負担設定済

イ 県内の観光施設や物販施設等の立寄り施設と連携した、県外旅行会社への旅行商品造成の働きかけを行う。

交付対象者	鳥取県観光施設連絡協議会
補助対象経費	旅行商品造成のためのプロモーション経費 【対象となる旅行会社】 ・山陽、姫路エリアの旅行会社（日帰り圏内） 【補助内容】 ・旅行商品造成支援、広告費支援、受地側イベント開催経費 等
補助率、限度額	10/10 5,000千円（定額）

**3 これまでの取組状況、改善点**

貸切バスの新運賃制度による団体バスツアーの減少が顕著となっていることに加え、平成28年は近隣県で大型イベント（瀬戸内国際芸術祭2016（香川県・岡山県）、晴れの国おかやまディスプレイネーションキャンペーン等）の開催が予定されており、本県への観光需要の落ち込みが懸念されることから、県外からの旅行商品の造成に向けた取り組みが必要となる。

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費  
 3 項 観光費  
 1 目 観光費

観光戦略課 (内線: 7237)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
宿泊促進WEB対策事業	25,000	25,000	0				25,000							
トータルコスト	27,339千円 (前年度 27,330千円) [正職員: 0.3人]													
主な業務内容	補助金対象者との連絡調整、補助金交付業務													
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。													
事業内容の説明														
<p><b>1 事業の目的・概要</b>                      個人旅行者向けの対策として、民間団体が実施する大手宿泊予約サイトを活用した「山陰大周遊キャンペーン」の取組を支援する。</p> <p><b>2 主な事業内容</b>                      (1) 事業内容                      鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合が行う宿泊予約サイトを活用した情報発信及び誘客対策を支援する。                      【補助金概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">補助対象者</td> <td>鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>個人向大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>10/10 (上限25,000千円)</td> </tr> </table> <p>※平成27年11月補正予算において一部予算の債務負担行為設定済</p> <p>(2) 事業期間: 平成28年3月下旬から平成29年3月まで</p> <p><b>3 これまでの取組状況、改善点</b>                      平成28年は、近隣県で開催される大型イベント(瀬戸内国際芸術祭2016(香川県・岡山県)、晴れの国おかやまディステーションキャンペーン等)による観光需要の落ち込みが懸念されることから、大手宿泊予約サイトを活用した誘客キャンペーンを実施し、誘客につなげる必要がある。</p> <p>* 宿泊予約サイト                      目的地の旅館、ホテルなど宿泊施設の予約や価格比較、宿泊施設近隣の情報などが簡単に入手できるインターネット上のサイト(楽天トラベル、じゃらんnet、るるぶトラベルなど)</p>									補助対象者	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合	補助対象経費	個人向大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費	補助率	10/10 (上限25,000千円)
補助対象者	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合													
補助対象経費	個人向大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費													
補助率	10/10 (上限25,000千円)													

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
温泉地魅力向上事業	12,500	10,124	2,376				12,500	
トータルコスト	20,298千円（前年度 17,112千円）〔正職員：1.0人〕							
主な業務内容	負担金交付事務及び協議会への出席、助言等							
工程表の政策目標（指標）	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着眼し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 国内外からの観光誘客のため、本県の重要な観光素材である「温泉」の魅力向上を図る。</p> <p>2 主な事業内容                      (1) 温泉地魅力向上事業（7,310千円）                      温泉地の魅力向上のため、温泉地、観光施設及び市町等が連携して行う広報宣伝、催事等に対して助成する。</p>								
（単位：千円）								
区 分	予算額	内 容						
いなば温泉郷支援事業 〔総事業費 3,930〕	1,310	入湯周遊チケット作成、宿泊プラン作成、県内外でのPR、WEB・マスコミを活用した情報発信等						
皆生温泉支援事業 〔総事業費 18,000〕	6,000	各種イベントでのPR、インバウンド対策（外国語サインの作成）、ツアーの実施やクーポンの発行等						
※負担割合 県1/3、市町1/3、旅館組合等の地元1/3								
<p>(2) 温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト事業補助金（5,190千円）                      県内の温泉関係者が地元自治体と連携して行う、温泉地の総合計画に沿った施設整備に対する経費を支援する。</p>								
区 分	内 容							
補助対象者	温泉旅館組合、地元住民、観光事業者で組織する実行委員会など							
補助対象事業者	市町村							
補助対象事業	○皆生温泉 平成27年度 グランドデザイン策定 平成28年度～足湯整備等グランドデザインに沿ったハード整備							
補助率	市町村が補助する経費の1/2以内 （施設整備費のうち民間が所有するものにあつては、間接補助対象経費の1/3以内）							
<p>3 これまでの取組状況、改善点                      (1) 温泉地魅力向上事業                      チケットクーポンの作成やWEBを活用した情報発信等に取り組んでいる。今後、旅行ニーズの多様化・旅行形態の変化に応じた事業を実施する。</p> <p>(2) 温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト事業補助金                      皆生温泉が平成27年度にグランドデザインを策定。平成28年度から、足湯の整備等を行い、観光事業者等と連携して、一層の観光誘客、宿泊客の増加を目指す。</p>								

平成28年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費  
 3 項 観光費  
 1 目 観光費

観光戦略課 (内線: 7237)  
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
広域観光連携推進事業	9,420	19,420	△10,000				9,420	
トータルコスト	15,658千円 (前年度 28,738千円) [正職員: 0.8人]							
主な業務内容	広域的な観光客誘致活動、連絡調整等							
工程表の政策目標 (指標)	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内外の観光関係団体・関連事業者等と連携協力して、スケールメリットを活かした広域情報発信、共同プロモーション等効果的な観光誘客を図る。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容
因幡・但馬・丹後観光協議会事業	500	県東部と、兵庫県但馬地方、京都府丹後地方の関係市町・民間が連携して、広報宣伝等の観光誘客事業を行う。 総事業費2,000千円 (本県負担: 500千円)
ひょうご・とっとりツーリズムバス事業	600	鳥取県及び兵庫県以外の居住者が、団体に貸切バスを使用して所定の観光施設を訪れる場合、バス借上料の一部を助成する。
鳥取・岡山観光連携事業	2,000	広域観光地図の改訂、両県連携による情報発信、宣伝活動、旅行会社への商品造成の働きかけ等を実施する。 総事業費4,000千円 (本県負担: 2,000千円)
「ディスカバーウェスト」中国五県連携観光振興事業	5,000	首都圏を始めとする大都市圏から中国地方への観光誘客を図るため、中国五県とJR西日本で組織する「DISCOVER WEST連携協議会」を通して、観光情報の発信等を行う。
鳥取自動車道活性化協議会事業	900	鳥取自動車道沿線市町・民間が連携して行う沿線地域の観光魅力発信、沿線を周遊する観光ルートの提案などの観光誘客事業を行う。 総事業費2,150千円 (本県負担: 900千円)
NEXCO西日本と連携したカードラリーの実施	420	NEXCO西日本と西日本の各府県が共同で実施するカードラリー「お国じまんカードラリー」に参加し、高速道路を活用した情報発信と観光誘客に取り組む。
計	9,420	

\*鳥根県との広域観光連携事業 (山陰観光推進協議会) は、山陰DMO「山陰観光推進機構 (仮称)」設立・運営事業に統合。

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費  
 3 項 観光費  
 1 目 観光費

観光戦略課 (内線: 7237)  
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「蟹取県へウエルカニ」誘客促進事業	32,780	35,000	△2,220				32,780	
トータルコスト	40,578千円 (前年度 42,765千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	キャンペーン企画、業務委託事務、広報業務							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

## 事業内容の説明

### 1 事業の目的・概要

カニシーズンの到来に合わせ「鳥取県＝カニ」を情報発信の切り口とした誘客キャンペーンを展開し、首都圏をはじめとする都市圏メディアでの露出を図ることで本県への誘客につなげる。

### 2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
「蟹取県ウエルカニキャンペーン」の実施	8,300	キャンペーン期間中(平成28年9月1日～29年2月28日)、県内の宿泊施設にお泊まりいただいた方を対象として、抽選で毎月100名様に「鳥取県のカニ」をプレゼントする。
カニガイドブックの作成	5,000	鳥取のカニの説明、県内のカニ料理を提供する宿泊施設・飲食店やカニを販売する店舗等の情報など、カニに特化したガイドブックを作成する。
メディアでの情報発信	4,480	首都圏・関西圏の大手メディアで発信することで全国規模での露出につなげ、本県の知名度向上を誘客促進につなげる。(テレビ番組誘致、プレスリリース配信など)
県内向けの情報発信・機運醸成	700	「蟹取県」、「ウエルカニ」を県内向けに情報発信するとともに県内の機運醸成を行う。
キャンペーンパンフレット・ポスターの作成	4,800	キャンペーンパンフレット、ポスター等を作成し、キャンペーンの情報を発信する。
首都圏メディア発表会の開催	7,800	首都圏においてキャンペーンのキックオフイベントを開催し、キャンペーンのPRを実施する。
キャンペーン特設WEBサイトの構築	1,700	キャンペーン情報を集約した専用WEBサイトを構築し、情報発信を行う。
合計	32,780	

### 3 これまでの取組状況、改善点

- 平成26年度から「ウエルカニキャンペーン」を開催し、平成27年度は開始時期を前年より1ヶ月早めた平成27年9月～平成28年2月にかけて実施した。
- キャンペーン期間中、「蟹取県」「ウエルカニ」をキーワードにすることで、首都圏をはじめとする各メディアでの露出につなげることができた。
- 今後も継続して「蟹取県」「ウエルカニ」を切り口とした取り組みを実施することで、都市圏でのイメージ定着を進め、本県への誘客促進に結びつける必要がある。

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

## 7款 商工費

### 3項 観光費

#### 1目 観光費〈総合事務所分は地方機関計上予算〉

観光戦略課（内線：7638）

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9372）

西部総合事務所日野振興センター日野振興局（電話：0859-72-2080）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
とっとりスタイルエコ ツーリズム普及推進事業	22,783	25,904	△3,121				22,783													
トータルコスト	34,481千円（前年度 38,329千円）〔正職員：1.5人〕																			
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等																			
工程表の政策目標（指標）	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の目的・概要                      多様な自然環境、歴史文化遺産、食材等鳥取ならではの地域資源と各分野の人材を活用した体験型教育旅行商品の開発・普及を促進し、鳥取の潜在力や秘めた魅力をより深く来県者に伝えることにより、国内外の鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大を目指す。</p>																				
<p>2 主な事業内容</p> <p>【Ⅰ 情報提供の強化 2,484千円（西部総合事務所）】</p> <p>鳥取県の観光情報を提供する多言語対応のスマートフォンのアプリ「TOTTRIP」（とっとりっぷ、対応言語：日本語・英語・韓国語）について、更なるコンテンツの充実を図り、国内外から本県を訪れる旅行者への情報提供を強化する。                      （委託先）NPO法人大山中海観光推進機構</p> <p>【Ⅱ 国内誘客の推進 16,102千円（観光戦略課）】</p> <p>地域資源の観光メニュー化や規模拡大を行う団体を支援するとともに、旅行会社等と連携した情報発信、教育関係者へのプロモーション活動の強化を行う。</p> <p>(1) 教育旅行誘致（鳥取県観光連盟委託） 6,602千円                      ①教育旅行誘致を目的とした宿泊助成 1,500千円                      本県での修学旅行受入を積極的に進めるため、誘引要素として宿泊費助成を設け、総合的な誘致促進を図る。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>県外の小、中、高等学校</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>宿泊延べ人数×1千円（上限300千円）</td> </tr> </table> <p>②旅行会社等への売り込み強化 5,102千円                      県外の旅行会社等にとって、鳥取県はエコツーリズム・ニューツーリズムの受入先としてまだ認知度や信頼度が低いことから、視察旅行の開催などの積極的な売り込みを図る。                      ・プロモーション活動（視察旅行の開催等）の展開、HPの構築等                      ・教育旅行誘致コーディネーターの配置</p> <p>(2) 観光メニュー造成や受地整備に対する支援（スタートアップ型） 4,000千円</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>市町村、観光協会など</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>1/2（上限500千円）</td> </tr> </table> <p>(3) 人材育成を核とした体制整備や規模拡大への取組に対する支援（規模拡大型） 5,500千円</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>市町村、観光協会など</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>1/2（上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。）</td> </tr> </table>									補助対象者	県外の小、中、高等学校	補助額	宿泊延べ人数×1千円（上限300千円）	補助対象者	市町村、観光協会など	補助額	1/2（上限500千円）	補助対象者	市町村、観光協会など	補助額	1/2（上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。）
補助対象者	県外の小、中、高等学校																			
補助額	宿泊延べ人数×1千円（上限300千円）																			
補助対象者	市町村、観光協会など																			
補助額	1/2（上限500千円）																			
補助対象者	市町村、観光協会など																			
補助額	1/2（上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。）																			



【Ⅲ 滞在型観光「住まうように旅する」の推進 4, 197千円 (西部総合事務所、日野振興センター)】

エコツーリズム推進体制の維持と併せて、啓発活動や圏域の新しい観光素材の発掘等や全国に誇る地域資源である「たたら」の磨き上げに取り組む団体を支援し、「とっとりスタイルエコツーリズム」を定着させる。

(1) エコツーリズム推進組織への活動支援 2, 800千円

事業主体	大山山麓観光推進協議会
事業内容	○情報発信：WEB、県外催事等での情報発信 ○圏域連携・商品づくり：圏域内イベントでのPR、素材の洗い出しと共有化、観光素材発掘PR、モニターツアーの実施 ○地域啓発：啓発セミナー開催等
補助率等	1/2 (上限2, 800千円)

(2) たたら資源等の活用体験事業 1, 397千円

①地域の誇り「たたら」の磨き上げ事業 647千円

日野郡内外の住民を対象にした「たたら」に関するミニたたら操業体験会(50人程度、1回)、小中学生等を対象とした学習会(1回)を開催し、「たたら」の普及啓発を図るとともに、新たなたたら散策コースの調査を実施する。

②日野郡ニューツーリズム推進事業 750千円

事業主体	日野郡広域交流促進協議会
事業内容	日野郡特有の資源を活用したエコツーリズムメニューの造成やガイド育成、情報発信について助成する。
補助率等	1/2 (上限750千円)

3 これまでの取組状況、改善点

教育旅行のプログラム開発や受入施設の拡大等を進める県域団体を立ち上げ、地域一体となって教育旅行誘致の取組を進めるとともに、地域資源の磨き上げやガイド育成のほか、主要地を結ぶ地域情報の収集や情報発信など、とっとりスタイルエコツーリズムの全県展開に取り組んでいる。

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
着地型観光・体験情報発信事業	3,132	0	3,132				3,132	
トータルコスト	3,912千円（前年度 0千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付業務、関係先との調整等							
工程表の政策目標（指標）	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

**事業内容の説明**

**1 事業の目的・概要**

認知不足でその魅力が十分に伝わっていない県内の「着地型観光メニュー」を集約し、観光情報とともに発信する「鳥取県着地型観光案内窓口」を日本最大級のレジャー体験予約サイト上に設置し、増加する個人旅行者に強く訴求するとともに、ダイレクトな誘客につなげる。

**2 主な事業内容**

平成27年6月に開設した、レジャー体験予約サイト上に鳥取県の体験プログラムを集約し、その場で申込みが可能な「鳥取県特集ページ」の運用・更新をはじめ新たな体験プログラムの商品化の促進や体験プログラムの品質向上を図るための取り組みに対して支援する。

（平成27年度は、国の地方創生先行型交付金で実施（H26年度臨時経済対策で予算計上））

事業主体：（公社）鳥取県観光連盟  
事業費：3,132千円（補助金・定額）  
＜補助事業の内容＞

区 分	内 容
掲載プログラム	着地メニュー、体験プログラム（自然体験、文化体験、歴史探訪ガイドツアーなど）
鳥取県特集ページの運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県特集ページの保守管理及び更新</li> <li>・サイト内への誘導</li> <li>・体験プログラムは閲覧の上、予約申込みが可能 →閲覧者のダイレクトな誘客につながる</li> </ul>
事業検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略会議（年3回）を実施し、ページアクセスの分析をもとに、体験プログラムの品質向上、販促誘客につなげる</li> </ul>

**3 これまでの取組状況、改善点**

昨年6月の「鳥取県特集サイト」の構築に伴い、掲載プラン数が2.6倍、対前年比による申込件数は250%、取扱高は268%と高い効果が現れた。

しかし、登録体験プログラム商品数が東部エリアに集中するなどの課題もあるため、今後も引き続き県内各地の地域資源の磨き上げや情報発信など、着地型観光の推進に取り組んでいく。

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課(内線:7239)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
外国人観光客受入推進事業	22,819	9,556	13,263				22,819	

トータルコスト 24,379千円(前年度 11,886千円) [正職員:0.2人]

主な業務内容 関係機関との連絡調整、広報、補助金・負担金交付業務

工程表の政策目標(指標) 外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現

事業内容の説明

### 1 事業の目的・概要

本県を訪れる外国人観光客の満足度を高め、鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大へとつなげるため、「国際リゾート」と呼ばれるにふさわしい、来県客にとって便利で快適な受入環境整備を、関係団体・事業者等と協働で実施する。

### 2 主な事業内容

(単位:千円)

区 分	予算額	内 容
(1) 受入環境整備支援(鳥取県外国人観光客倍増促進補助金)	15,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語案内看板やマップ等の作成</li> <li>・外国語ホームページの作成</li> <li>・無料Wi-Fi環境整備</li> <li>・ムスリム対応</li> <li>・両替機等設置</li> <li>・消費税免税店舗の開設準備等に要する経費助成</li> </ul>
(2) 「おもてなし」の充実	2,967	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内空港、JR駅・列車内でのチャーター便歓迎行事の実施</li> </ul>
(3) 観光案内体制の整備	4,589	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子空港ビル及び境港国際旅客ターミナルの観光案内所への案内人配置</li> </ul>
(4) 観光施設等の多言語対応の充実・利便性の向上	263	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語電話通訳サービスの提供(通年)</li> </ul>
計	22,819	

### 3 これまでの取組状況、改善点

平成27年3月に策定した「ようこそようこそ鳥取県運動取組指針」に定めた外国人観光客の消費額や宿泊数の目標を達成するため、本県を来訪する外国人観光客が心地よく滞在できるよう、標識や観光案内板の多言語対応、無料公衆無線LANの環境整備や消費免税店舗開設に係る支援、多言語コールセンターを活用した言語バリアフリー化及び山陰地域限定特例通訳案内士の育成等、外国人観光客の受入態勢整備を促進している。

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費  
 3 項 観光費  
 1 目 観光費

観光戦略課 (内線: 7273)  
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
クルーズ客船受入推進事業	4,370	10,700	△6,330				4,370	
トータルコスト	6,709千円 (前年度 13,030千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、広報、補助金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	他県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							

**事業内容の説明**

**1 事業の目的・概要**

クルーズ船の鳥取港及び境港寄港による本県への経済波及効果を最大限に引き出すため、クルーズ船寄港時に、より多くの乗船客が県内観光地等に立ち寄るよう素材の売り込みを強化するとともに、受入環境の充実を図る。

**2 主な事業内容**

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容
オプションルツアーコース提案支援事業	600	クルーズ船寄港時のオプションルツアーコースとして、県内観光素材を取り入れたコースの提案を支援する。 (補助金額の上限: 200千円、補助率1/2) 【補助対象者】民間事業者等 【補助対象経費】提案資料の作成、旅行会社訪問に要する経費等
周遊バス運行支援事業	3,770	港から周辺施設等への周遊バスの運行を支援する。 (補助率 1/2) 【補助対象者】市町村、観光関係団体等 【補助対象経費】運行経費から運賃収入を除いた経費
合 計	4,370	

**3 これまでの取組状況、改善点**

クルーズ対応にかかる境港管理組合への負担金の割合を鳥取:島根=1:1(従来は3:1)に見直し、さらに、H27年度は新規に外国語コーディネーターの配置を行い、クルーズ対応の充実を進めてきた。

寄港誘致については、境港・鳥取両港と連携体制を密にし、民間観光事業者のセールス活動を進めて、従来の船会社に加え、旅行会社等へ幅広いポートセールスを進めている。

オプションルツアーバス支援は、寄港誘致の効果が引き続き期待できることから、規模を拡大して鳥取、島根両県で立ち上げる山陰DMOに移管して取り組んでいく。

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費

観光戦略課（内線：7239）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
観光周遊促進支援事業	33,702	34,236	△534				33,702									
トータルコスト	36,821千円（前年度 37,342千円）[正職員：0.4人]															
主な業務内容	補助金交付事務、関係機関との連絡調整															
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。															
事業内容の説明																
<p><b>1 事業の目的・概要</b></p> <p>近年、旅行形態が団体旅行から個人旅行に変化しているため、個人旅行者に対する利便性向上及び本県旅行商品の魅力アップに繋げることを目的に、基幹交通拠点等を出発地として観光地を巡るプランの充実を図ることにより本県への訪問客の増加を図る。</p>																
<p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>(1) 米子空港及び境港国際ターミナルと県中部・東部地区を結ぶリムジンバスの運行及び広報に対する支援（19,236千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">名称</th> <th style="width: 40%;">事業主体</th> <th style="width: 20%;">補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米子鬼太郎空港及び境港国際旅客ターミナルと東部・中部との連絡バス</td> <td>日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社</td> <td style="text-align: center;">10/10</td> </tr> </tbody> </table>									名称	事業主体	補助率	米子鬼太郎空港及び境港国際旅客ターミナルと東部・中部との連絡バス	日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社	10/10		
名称	事業主体	補助率														
米子鬼太郎空港及び境港国際旅客ターミナルと東部・中部との連絡バス	日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社	10/10														
<p>(2) 県内に発着又は宿泊する外国人旅行者向けに主要観光地等を周遊するタクシー等の運行及び広報支援（11,275千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">補助対象経費</th> <th style="width: 20%;">補助対象者</th> <th style="width: 20%;">補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行経費から運行収入を除いた額及び広報に必要な経費</td> <td>民間事業者等</td> <td style="text-align: center;">1/2</td> </tr> </tbody> </table>									補助対象経費	補助対象者	補助率	運行経費から運行収入を除いた額及び広報に必要な経費	民間事業者等	1/2		
補助対象経費	補助対象者	補助率														
運行経費から運行収入を除いた額及び広報に必要な経費	民間事業者等	1/2														
<p>(3) 空港や駅から主要観光地を周遊するバス等の運行及び広報支援（2,561千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">名称</th> <th style="width: 40%;">事業主体</th> <th style="width: 20%;">補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取因幡・Gバス</td> <td>鳥取市観光コンベンション協会</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1/3</td> </tr> <tr> <td>浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス</td> <td>浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※平成27年11月補正予算にて一部債務負担行為設定済</p>									名称	事業主体	補助率	鳥取因幡・Gバス	鳥取市観光コンベンション協会	1/3	浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会
名称	事業主体	補助率														
鳥取因幡・Gバス	鳥取市観光コンベンション協会	1/3														
浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会															
<p>(4) とっつりのりもの総合案内作成（630千円）</p> <p>観光客に県内の観光二次交通情報をわかりやすく情報提供するため、東部、中部、西部のエリア別に観光二次交通と観光情報をまとめたガイドマップを作成する。</p>																
<p><b>3 これまでの取組状況、改善点</b></p> <p>観光二次交通については、観光客の県内移動の利便性を高めるだけでなく、観光地等を容易に周遊できるよう整備を進め、県外を含め多くの観光客に利用していただき、大きな成果を得ている。今後も、新たなコースを加え、滞在時間の延長と県内観光地等の魅力発信を推進する。</p>																

平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費

観光戦略課（内線：7629）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
外国人観光客誘致推進事業	93,647	80,070	13,577				93,647	
トータルコスト	111,582千円（前年度 97,930千円）〔正職員：2.3人〕							
主な業務内容	海外での広報活動、旅行商品造成・販売促進支援、海外調査・宣伝業務の委託 国際交通基盤の利用促進のほか、県内空港へのチャーター便の誘致							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

外国人観光客増加による県内観光消費の伸長と本県観光産業の一層の発展を図るため、本県の国際定期便、近隣空港定期便や県内空港へのチャーター便就航による外国人観光客誘致に取り組む。特に、訪日客が増加している東南アジア等について、ますます観光需要が見込まれるため重点的にプロモーションを展開する。

2 主な事業内容

※予算額欄の太枠部分がH28当初予算部分

(単位：千円)

区分	予算額	内容	うちH27臨時 経済対策分
新規重点等	23,000	(1) 広報宣伝等プロモーション委託 (2) 香港旅行会社の県内招請及び商談会開催 (3) 現地駐在員配置 (4) タイ旅行社の県内招請	24,780
	1,780	ミシュランガイド制作のための関係者との調整等	
上記以外	31,257	(1) ソウル駐在員の配置(2名) / (2) トレッキング、ウォーキング リゾートなど観光情報をTV番組、新聞雑誌等でPR	—
	34,350	(1) 現地旅行博出展、物産展開催 (2) 現地旅行会社・航空会社等の訪問 (3) 旅行会社・航空会社等の県内招請 (4) 広報宣伝などのプロモーション委託 等	—
小計	90,387		24,780
共通	23,000	外国人観光客送客促進事業補助金（貸切バス助成）	23,000
	4,920	外国人観光客送客促進事業補助金（トレッキング案内ガイド料等助成）	—
	3,400	外国人観光客倍増促進補助金（事業者の海外プロモーション等助成）	—
	15,000	外国人観光客誘致対策補助金	—
	4,720	JR西日本とのキャンペーン/観光素材紹介ツール作成	—
小計	51,040		23,000
合計	141,427	(内訳) 当初予算分：93,647 H27臨時経済対策分47,780	47,780

3 これまでの取組状況、改善点

- 「ようこそようこそ鳥取県運動取組指針」(H27.3) や国策定の「観光立国実現に向けたアクションプログラム2015」等を踏まえ、外国人観光客誘致に取り組んだ結果、外国人観光客宿泊者数が「鳥取県元気づくり総合戦略」(H27.10) で定めた目標8万人を突破し、さらなる入込みが見込まれる。
- 今後は、これまで誘客に取り組んできた国・地域からの観光客を堅持しつつ、ビザ免除等により訪日客が増加している東南アジア等に向けたプロモーションを強化する。

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費

観光戦略課（内線：7221）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際観光推進費	39,529	44,486	△4,957			(雑入) 20	39,509	
トータルコスト	46,547千円（前年度49,145千円）〔正職員：0.9人〕							
主な業務内容	外国人観光客誘致、関係機関等との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標（指標）	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現、東アジア地方政府観光フォーラム（EATOF）への参加、米子リール定期便及び環日本海定期貨客船航路（旅客）の自立・発展							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>本県への外国人観光客を増加させ、観光産業の振興及び米子ーソウル便・環日本海定期貨客船などの国際交通基盤の維持・発展に寄与するため、近隣各県や海外地方政府と連携した情報発信やメディア招請などの誘客活動を実施する。</p>								
2 主な事業内容 <span style="float: right;">（単位：千円）</span>								
区分	予算額	内容						
広域連携国際観光推進事業	5,980	山陰・中国5県、関西など、他府県と連携した外国人観光客誘致事業等に要する経費 <span style="float: right;">（単位：千円）</span>						
		区分	予算額	内容				
		中国地区広域観光検討部会負担金	2,500	中国五県連携訪日観光事業推進等				
		中国地方インバウンドフォーラム負担金	1,000	韓国・中国・台湾等向けの観光客誘客活動				
		京都・兵庫三府県連携事業負担金	1,000	ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信、インバウンド誘客				
		関西空港観光案内所整備運営協議会負担金	800	観光案内所の運営経費（情報発信・情報収集業務）				
		国際観光振興機構負担金	680	国内外の観光情報提供等				
計	5,980							
東アジア地域観光交流促進事業	1,300	東アジア地域の共同繁栄と各地域間の緊密な交流を深めるため、各地域間の国際観光交流の促進を目的とした東アジア地方政府観光フォーラム（EATOF（イートフ））へ参加する。 予算内容：事務局運営負担金						
環日本海定期貨客船航路利用促進費	4,600	環日本海定期貨客船の旅客利用のうち、一層の利用促進が求められる日本からの利用を促進するため利用者支援等を行う。						
		区分	予算額	内容				
		国際定期航路利用促進委員会（仮称）負担金	1,100	○修学旅行支援／修学旅行に対して、国際旅客ターミナルまでの貸切バス費用を支援 ○グループ旅行支援／4名以上のグループに対して経費の一部を支援				
		シャトルバス運行委託費	3,500	国際旅客ターミナルと境港駅間のシャトルバスの運行を委託				
計	4,600							
国際観光推進費	27,649	外国語版の観光パンフレット・観光案内地図等の増刷や非常勤職員配置などに要する経費						
計	39,529							

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費  
 3 項 観光費  
 1 目 観光費

観光戦略課（内線：7421）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)観光交流局管理運営費	4,060	0	4,060				4,060	
トータルコスト	4,840千円（前年度 0千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、観光交流局業務の方針検討、予算・議会関係業務等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明  観光交流局所掌事務に係る連絡調整、庁内外との連携等を推進するための事務的経費である。								
事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	233,409	216,604	16,805				233,409	
事業内容の説明  一般職員33名分の人件費								



## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課（内線：7421、7237、7629）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止)とっとりスタイルエコツーリズム「海外誘客・交流」推進事業	0	275	△275					
トータルコスト	0千円（前年度2,605千円）							
事業内容の説明 （廃止）エコツーリズムに取り組む民間団体による海外先進地への視察も増えてきており、当該事業の事業目的は達したものと判断したため。								
(廃止) ウィンタールミネーション支援事業	0	25,000	△25,000					
トータルコスト	0千円（前年度25,000千円）							
事業内容の説明 （廃止）事業の実施主体が決まらないため。								
(廃止) 外国人観光客誘致推進事業（チャーター便等活用誘客事業）	0	10,000	△10,000					
トータルコスト	0千円（前年度10,000千円）							
事業内容の説明 （廃止）平成28年度は他の誘客事業に組み替えたため。								
(廃止)「行きたいとっとり」支援創出支援事業	0	5,000	△5,000					
トータルコスト	0千円（前年度5,777千円）							
事業内容の説明 （廃止）事業の役割を果たしたため。								
(廃止) スポーツツーリズム「誘客戦略」推進事業	0	60,750	△60,750					
トータルコスト	0千円（前年度63,080千円）							
事業内容の説明 （廃止）自然を体感するニューツーリズム（エコツー・スポーツツーリズム等）全県展開戦略事業へ組み替えたため。								

7 款 商工費  
3 項 観光費  
1 目 観光費

観光戦略課（内線：7421、7237）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) 祝！三徳山・三朝温泉日本遺産初認定記念事業	0	3,000	△3,000					
トータルコスト	0千円（前年度3,000千円）							
事業内容の説明 （廃止）地域住民生活等緊急支援のための交付金（地方創生先行型）を活用し、平成27年度単年度事業として実施したため。								
(廃止) 県立観光施設外国語表記対応事業	0	6,000	△6,000					
トータルコスト	0千円（前年度6,000千円）							
事業内容の説明 （廃止）平成27年度単年度事業として実施したため。								
(廃止) 「とっとりへウエルカニ」お泊まりキャンペーン事業	0	80,000	△80,000					
トータルコスト	0千円（前年度80,000千円）							
事業内容の説明 （廃止）地域住民生活等緊急支援のための交付金（地域消費喚起・生活支援型）を活用し、平成27年度単年度事業として実施したため。								
(廃止) 滞在型観光（ゲストハウス型等）受入支援事業	0	1,360	△1,360					
トータルコスト	0千円（前年度1,360千円）							
事業内容の説明 （廃止）平成27年度を取組結果を反映して予算要求することとしており、27年度末の実績報告を受けて、平成28年6月補正予算要求予定。								
事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) 外国人観光客受入おもてなし向上推進事業（地域限定特例通訳案内士育成）	0	4,000	△4,000					
トータルコスト	0千円（前年度4,000千円）							
事業内容の説明 （廃止）山陰DMO「山陰観光推進機構（仮称）」の事業に統合したため。								

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費（地方機関計上予算）

観光戦略課（内線：7239）

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3290）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳			備考
				国庫支出金	起債	その他 （基金繰入金） 26,900 （雑入）15	
スポーツツーリズム推進事業（ウォーキングリゾートの推進）	33,609	19,120	14,489			6,694	
トータルコスト	67,453千円（前年度28,439千円） [正職員：4.3人、非常勤職員：2.0人]						
主な業務内容	イベント企画運營業務、補助金交付事務、関係機関との連絡調整						
工程表の政策目標（指標）	WTC鳥取大会の開催、民間団体及び市町が開催するウォーキング大会及び関連する取組への支援、ウォーキングに係る機運向上						

事業内容の説明

【「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】

### 1 事業の目的・概要

県中部のウォーキングを核として、国内外からの誘客と県民の健康増進を図るため、ウォーキングの国際会議・フェスティバル「ワールドトレイルズカンファレンス（WTC）鳥取大会」を開催するとともに、民間団体が主催するウォーキング大会を引き続き支援する。

### 2 主な事業内容

(1) WTC鳥取大会開催経費 26,900千円

ア WTC鳥取大会実行委員会への負担金（15,684千円）

〈WTC鳥取大会実行委員会支出予算〉

（単位：千円）

内 容	金額	備考
国際会議、歓迎レセプション等に係る経費	13,474	
ウォーキングフェスティバル等に係る経費	9,000	
普及啓発・情報発信等に係る経費	8,960	
合 計	31,434	

〈WTC鳥取大会実行委員会収入予算〉

（単位：千円）

内 容	金額	備考
負担金	25,084	県15,684、市町9,400
その他	6,350	参加費、協賛金等
合 計	31,434	

イ 記念講演会等開催経費（9,776千円）

WTC鳥取大会開催に併せて、記念講演会・企画展示等を開催する。

ウ ウォーキングコース共通サイン整備（1,440千円）

ウォーキングのコース及びおもてなしステーション用のサインを作成する。

【参考：WTC鳥取大会概要】

- ① 開催日 平成28年10月14日（金）から17日（月）
- ② 内 容 ・国際会議（シンポジウム、分科会）、記念講演会、企画展示  
・ウォーキングフェスティバル（ウォーキング大会、交流会）等
- ③ テーマ 歩いて癒やされる。（健康から観光まで）
- ④ 参加目標 延べ4,000人

(2) 発信力ある大会・海外との連携に対する支援 2,800千円

対 象	SUN-IN未来ウォーク （県中部、6月）	SUN-IN未来100kmウォーク （県中部、11月頃）	ウォーキングの国際ネットワ ーク加盟団体の活動
事業主体	SUN-IN未来ウォーク実行 委員会	NPO法人未来	NPO 法人未来
支援内容	大会運営費、広報宣伝費等	大会運営費、広報宣伝費等	PR経費、関係者招聘旅費等
補助率等	定額（上限1,000千円）	1/2（上限1,000千円）	1/2（上限800千円）

(3) 非常勤職員人件費（2人） 3,909千円

### 3 これまでの取組状況、改善点

- ・アジアトレイルズカンファレンス（ATC）鳥取大会（平成27年10月開催）に、国内外から延べ1,250人が参加し、鳥取県の魅力を広く発信することができた。
- ・WTC鳥取大会は、ウォーキングコースの充実とプロモーションの強化を図り、ウォーキングを核とした地域づくり「ウォーキングリゾートとっとり」の推進を図る。
- ・SUN-IN未来100kmウォークが韓国のグランドスラム大会に認定され、韓国人参加者が増加した。

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費 <地方機関計上予算>

中部総合事務所地域振興局（電話：080-5622-3988）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取中部ふるさと広域連合との広域観光連携推進事業	15,500	13,500	2,000				15,500	
トータルコスト	23,298千円（前年度 21,265千円）〔正職員：1.0人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、企画調整							
工程表の政策目標(指標)	観光の振興							

**事業内容の説明**

**1 事業の目的・概要**

鳥取中部ふるさと広域連合（以下「広域連合」という。）が策定した「鳥取中部広域観光ビジョン」に沿って中部圏域の観光を飛躍的に発展させるため、広域連合と連携して中部圏域の広域観光を担う日本版DMO(※)の強化を図り、観光地域づくりを推進する。

※中部圏域の日本版DMOとして「一般社団法人鳥取中部観光推進機構」がH28年1月18日に設立された。

**2 主な事業内容**

**(1) 鳥取中部圏域広域観光連携推進事業【15,000千円】**

広域連合が「鳥取中部広域観光ビジョン」に沿って中部圏域の観光を飛躍的に発展させるために、マーケティング等の強化を図りながら県施策と連携して実施する観光誘客事業について必要な経費の一部を補助する。

項目	内容
事業主体	広域連合
補助率	1/2
補助上限額	15,000千円
対象経費	人件費、広告宣伝費、委託料、プロモーション旅費 等

**(2) 県職員の駐在に要する経費【500千円】**

観光業務担当職員が広域連合に駐在するための賃借料、光熱水費等

**3 これまでの取組状況、改善点**

- ・平成25年度から27年度まで鳥取中部圏域広域観光連携モデル事業として、県の観光担当職員が広域連合に駐在することで広域連合と連携した体制を構築し、役割分担及び情報共有により効果的に事業計画の作成や事業展開を行うことができた。
- ・「鳥取中部広域観光ビジョン」達成のため、「鳥取中部広域観光戦略会議」において取組の方向性や戦略を協議・検討し「癒しの鳥取中部」を情報発信すると共に、中部・東部を結ぶ定期観光バス及びコナンミステリーループバスを運行やアジアトレイルズカンファレンス鳥取大会への参画を通し、圏域を超えた魅力創出と魅力発信、広域誘客に取り組んだ。
- ・中部圏域が有している温泉等の観光資源のほかに、新たな魅力（日本遺産、ウォーキングリゾート等）が加わった。今後はこれらの観光資源をベースに観光地域づくりを進め、一元的に情報発信するなど日本版DMOの強化等を図り、戦略的に国内外から観光客誘致を促進する。

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3177）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
櫻杯争奪相撲選手権大会支援事業	500	500	0				500	
トータルコスト	1,280千円（前年度 1,277千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	観光の振興							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要  倉吉市出身で倉吉市名誉市民でもある故・第53代横綱琴櫻（先代佐渡ヶ嶽親方）を記念して開催される櫻杯争奪相撲選手権大会について、歴史・伝統に根差した地域振興を図り、賑やか活力ある地域づくりにつなげるため、開催を支援する。</p> <p>2 主な事業内容  （1）第38回櫻杯争奪相撲選手権大会（倉吉市）  （2）第32回わんぱく相撲全国大会派遣（両国国技館）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点  ・ 昭和54年に第1回を開催した。県内外からの参加者（小・中学生）や佐渡ヶ嶽部屋などの関係者を迎え、中国地方有数の相撲大会として定着している。  ・ 第30回わんぱく相撲全国大会（平成26年8月3日開催）では、鳥取Aチームが団体戦で準優勝、個人戦でも準優勝（わんぱく大関）とベスト8（わんぱく小結）が各1人誕生と、好成績を収めた。</p>								

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費  
 3 項 観光費  
 1 目 観光費 <地方機関計上予算>

中部総合事務所地域振興局 (電話：0858-23-3177)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中部振興活動費	2,919	0	2,919				2,919	
トータルコスト	8,378千円 (前年度 0千円) [正職員0.7人]							
主な業務内容	地域づくり団体・関係機関等との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	観光の振興							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>中部圏域の地域振興を推進するため、地域振興、文化観光、広域観光、三徳山世界遺産登録運動等について、地域住民及び地元自治体等と連携して取り組む。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 地域住民・団体による地域資源を活用した地域づくり活動との連携・支援 (自然・歴史・文化・景観等)</p> <p>(2) 広域観光の推進等による国内外からの誘客推進</p> <p>(3) ウォーキングを活用した地域づくり</p> <p>(4) 三徳山世界遺産登録運動の推進</p> <p>(5) 鳥取県総合芸術文化祭 (とりアート) 中部地区事業等、文化振興の推進 など</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取中部ふるさと広域連合との連携強化や、とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会 (現：(一社)鳥取中部観光推進機構) への参画等を通して、中部圏域全体の広域観光取組を推進した。</li> <li>ウォーキングを通じた誘客を目指して、地域全体の取組を推進した。</li> <li>三徳山の世界遺産登録に向けて、推進協議会の情報発信部会の事務局を担い、広報・啓発・地域活動の支援等を推進した。</li> <li>鳥取力創造運動活動団体、(公財) とっとり県民活動活性化センターや鳥取県総合芸術文化祭 (とりアート) 中部地区事業とも連携して、各種地域活動との連携・支援を実施した。</li> </ul> <p>※平成27年度までは地域振興部の予算 (総務費) で計上されていたため、前年度はゼロ。                  (所管部局の変更による費目の変更)</p>								

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費 <地方機関計上予算>

中部総合事務所地域振興局(電話:080-5622-3988)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止)三徳山・三朝温泉日本遺産修景環境整備事業	0	21,102	△21,102					
トータルコスト	0千円(前年度 21,102千円) [正職員:0.0人]							
主な業務内容	工事請負業務の発注等							
工程表の政策目標(指標)	三徳山の世界遺産登録等により、鳥取県と周辺地域(関西・中四国等)を周遊する観光客の増加を目指す。							
事業内容の説明								
(廃止)事業完了による。								

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9372）

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他 (雑入)	一般財源											
大山中海振興費	6,825	6,809	16			8	6,817											
トータルコスト	13,063千円（前年度：13,021千円）[正職員：0.8人、非常勤職員：1.0人]																	
主な業務内容	二次交通（大山る一ぶバス）の整備支援、大山足湯整備補助金の支払い、観光客動向調査等																	
工程表の政策目標(指標)	とっとりスタイルエコツーリズムの推進、スポーツツーリズムの推進																	
<p><b>事業内容の説明</b></p> <p><b>1 事業の目的・概要</b>                      大山・中海エリアを訪れる観光客の利便性向上を図るため、観光二次交通の整備（大山る一ぶバスの運行支援）を行うとともに、西部管内における国際リゾート推進に向けた外国人観光客の動向調査、観光情報の収集等を行う。</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">(1) 大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金</td> <td style="text-align: right;">1,500千円</td> </tr> <tr> <td>(2) 大山足湯整備補助金（平成28年度分）</td> <td style="text-align: right;">193千円</td> </tr> <tr> <td>(3) 指定管理施設運営評価委員会運営費</td> <td style="text-align: right;">185千円</td> </tr> <tr> <td>(4) 非常勤職員の配置（観光客動向調査、観光商工情報収集等）</td> <td style="text-align: right;">1,864千円</td> </tr> <tr> <td>(5) 事務費</td> <td style="text-align: right;">3,083千円</td> </tr> </table> <p><b>3 これまでの取組状況、改善点</b>                      大山る一ぶバスの運行や大山寺参道の足湯整備などにより、観光客にとって地域の魅力を享受しやすい環境整備を進めている。一方、米子ソウル便、DBSクルーズに加え、大型クルーズ客船の寄港、海外からのチャーター便の増加など増加傾向にある外国人観光客に対応するため、国際リゾート推進に向けた取組を行う。</p>									(1) 大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500千円	(2) 大山足湯整備補助金（平成28年度分）	193千円	(3) 指定管理施設運営評価委員会運営費	185千円	(4) 非常勤職員の配置（観光客動向調査、観光商工情報収集等）	1,864千円	(5) 事務費	3,083千円
(1) 大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500千円																	
(2) 大山足湯整備補助金（平成28年度分）	193千円																	
(3) 指定管理施設運営評価委員会運営費	185千円																	
(4) 非常勤職員の配置（観光客動向調査、観光商工情報収集等）	1,864千円																	
(5) 事務費	3,083千円																	



## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

観光戦略課（内線：7239）

3項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9629）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツツーリズム「サイクリングリゾート」推進事業	9,669	50,118	△40,449				9,669	
トータルコスト	19,806千円（前年度 60,213千円） [正職員：1.3人]							
主な業務内容	スポーツツーリズムの推進							
工程表の政策目標（指標）	サイクリングの環境整備やスポーツイベントの支援を行うとともに、サイクリングや登山による国内外の観光客誘致を進める。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>これまでに整備を行ったサイクリングコースの管理を行い、快適な走行環境を維持し、国内外からの誘客を進める。また、トライアスロンやSEA TO SUMMITなどのイベント支援によりサイクリングリゾートとしてのブランド化を進める。</p>								
2 主な事業内容								
(1) サイクリング環境整備事業 2,419千円 <span style="float: right;">（単位：千円）</span>								
名称（開催時期）	内容					予算額		
弓ヶ浜サイクリングコース（皆生工区）管理費用	日野川左岸河口から皆生温泉を経て夜見町に至る区間（延長7.5km）の維持管理費用					2,419		
(2) スポーツイベント開催支援事業 7,250千円 <span style="float: right;">（単位：千円）</span>								
名称（開催時期）	主催					予算額		
全日本トライアスロン皆生大会（7月）	皆生トライアスロン協会					5,000		
皆生・大山 SEA TO SUMMIT（10月）	皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会					1,000		
中海オープンウォータースイム（6月）	中海オープンウォータースイム実行委員会					750		
アウトドアスポーツフェスタ（未定）	鳥取県アウトドアスポーツ協議会					500		
3 これまでの取組状況、改善点								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツツーリズムの先進地として評価され、H26年11月に境港～皆生～大山のコースがジャパンエコトラック協議会から全国第1号コースとして認定された。</li> <li>・トライアスロンと環境型スポーツイベントSEA TO SUMMIT は当地が国内発祥の地であり、毎回、全国各地から応募がある注目度の高い大会となっているのに加え、今年度はSEA TO SUMMITに駐日米国大使、米オレゴン州セーラム市長が参加するなど、本県のスポーツツーリズムとしての魅力が国内外に発信されている。</li> <li>・アウトドアスポーツフェスタは、次世代を担う若年者向けのイベントとして参加者から高い評価を得ており、今後の発展が期待できる。</li> <li>・中海オープンウォータースイムについては、平成27年度に初めて5kmの部で日本選手権出場枠を設けたことから注目され、8割以上が県外からの参加となった。大会認知の広まりにより、さらなる発展、県外集客が見込まれる。</li> </ul>								

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

## 2 款 総務費

### 2 項 企画費

#### 1 目 企画総務費

交流推進課 (内線: 7123)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) オリンピックホ ストタウン(ジャマイ カ交流) 推進事業	25,866	0	25,866			(基金繰入金) 22,866 (雑入) 3,000		
トータルコスト	33,664千円 (前年度 0千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	ジャマイカ・ウェストモアランド県との各種交流事業 等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明	【「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】							
1 事業の目的・概要	2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、国が進める「ホストタウン構想」による登録を受け、本県での陸上チームのキャンプ開催を契機としたジャマイカとのホストタウン交流計画に基づき、ウェストモアランド県との各種交流事業を実施する。							
2 主な事業内容	<p>(1) 職員派遣事業 (284千円) JICAの自治体連携事業を活用し、県職員をウェストモアランド県に派遣する。</p> <p>(2) 姉妹都市提携記念事業 (8,405千円) 姉妹都市提携を記念し、相互の文化交流を実施する。 【派遣】知事団及び文化交流団を派遣し、鳥取県とウェストモアランド県の友好交流をPRするとともに、本県の伝統文化を紹介する。 【受入】ホストタウン機運醸成イベントとタイアップし、ウェストモアランド県から文化交流団を招聘し、両県の文化交流を行う。</p> <p>(3) 青少年派遣事前調査事業 (2,462千円) 県内の青少年をウェストモアランド県に派遣するため、現地の受入環境(医療衛生環境等)の事前調査を行い、青少年派遣の安全性を確認する。</p> <p>(4) マラソン交流事業 (4,124千円) 鳥取マラソンとウェストモアランド県で開催される世界的に有名なレゲエマラソンに選手を相互派遣し、スポーツ交流を行う。</p> <p>(5) 友好交流・国際貢献事業 (10,591千円) カリコム地域初となる地方間交流のトップランナーとして、(一財)自治体国際化協会の助成金を活用し、本県が持つ技術力を提供する。 【派遣】本県の職員をウェストモアランド県に派遣し、本県の技術力が活用できる分野の事前調査を実施する。 【受入】ウェストモアランド県の職員を招聘し、本県で技術研修を実施する。</p> <p>【関連事業】 スポーツ関係でのジャマイカとの交流(スポーツ課) ・ジャマイカ陸上競技連盟との交流事業(2,596千円) ・ホストタウン気運醸成イベントの開催(3,968千円) ・(新)日本人オリンピックとの交流(325千円) ・ホストタウン構想トライアル交流補助金(500千円)</p>							
3 これまでの取組状況、改善点	<p>ジャマイカ・ウェストモアランド県から、平成27年8月に姉妹都市提携の申し出があり、同年10月に副知事を代表とする交流協議団がジャマイカを訪問した。協議の結果、早期に姉妹都市提携の手続きを行うことを合意した。平成28年3月にモーア議長(首長)が来県し、姉妹都市提携を締結し、本格的に交流をスタートする予定である。</p> <p>【参考】ジャマイカ・ウェストモアランド県の概要                  [面積] 807km<sup>2</sup> (鳥取市よりもやや大きい) [人口] 144,103人 (2011年)                  [県都] サバンナ・ラ・マール (サブラマ)                  [位置] ジャマイカの最西端、首都キングストンの西 約200km                  [その他]                  ・海や川、山や丘陵に恵まれ、肥沃な沼地も存在しており、動植物の多様性で知られている。                  ・ネグリルはビーチリゾートとして有名(ジャマイカ2番目の観光地)で、高級リゾート。毎年12月の市民マラソン「世界一楽しいレゲエマラソン」が有名である。                  ・農業や漁業が盛んで、特にサトウキビの生産で有名である。その他の農産物としては、バナナ、コーヒー、米、パンノキなどがある。</p>							

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7079）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 沿海地方友好交流25周年記念事業	5,969	0	5,969				5,969	
トータルコスト	7,529千円（前年度 0千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	沿海地方との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、来県者への随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b>  友好交流25周年を迎える沿海地方との交流を一層発展させるため、両地域で共同し、記念事業を実施する。</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>(1) 鳥取県事業「食から深める鳥取県・沿海地方友好交流25周年」 (3,744千円)  ア 「食のみやこ鳥取フェスタ」タイアップ事業  ・食のみやこフェスタへのロシア料理ブースの出展する。  （場所：鳥取県東部、中部、西部の3カ所、時期：夏、秋頃）  イ 「沿海地方給食の日」  ・園児から中学生の給食にロシア料理を提供する。  （場所：鳥取県内全域、時期：秋頃）  ウ 友好交流25周年記念式典  ・沿海地方から行政団、文化芸術団等を招待するとともに、一般県民からこれまで沿海地方の交流に携わった方々を対象に、記念式典等を開催する。  （場所：鳥取県東部、時期：秋頃）</p> <p>(2) 沿海地方開催記念事業 (2,225千円)  ・沿海地方行政府が開催する友好交流25周年記念式典に行政団、青少年交流団、伝統芸能団等とともに出席する。  （場所：沿海地方、時期：夏頃）</p> <p><b>3 これまでの取組状況、改善点</b></p> <p>○鳥取県と沿海地方との交流は、これまで様々な分野における交流事業等を実施したことにより、双方の交流団体同士における相互理解は進みつつある。ただ、鳥取県内においては沿海地方との交流に認知度が低かった県民もいるため、今回の25周年記念事業においては、幅広い層に訴求力のある「食」をテーマとして一連の記念事業として、改善して実施する。</p> <p>○平成27年度末には、25周年記念事業のプレイベントとして開催する「鳥取ウィーク」において、「食」をテーマとした「レストラン・フェア」を実施する予定である。25周年記念事業の実施により、鳥取県と沿海地方の両地域の住民同士の相互理解の拡大による交流人口の拡大につなげるとともに、両地域の貿易促進にもつながるように県民参加型の事業として実施する。</p>								

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

## 2款 総務費

### 2項 企画費

交流推進課（内線：7123）

#### 1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																									
(新) 河北省友好提携 30周年記念事業	5,321	0	5,321				5,321																									
トータルコスト	6,881千円（前年度 0千円） [正職員：0.2人]																															
主な業務内容	河北省との連絡調整、記念事業の企画・立案、資料の翻訳、来県者への随行、通訳等																															
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。																															
事業内容の説明																																
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>友好提携30周年を迎える河北省との交流を一層発展させるため、両地域で共同し、記念事業を実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 鳥取県代表団の派遣 (1,543千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時期</td> <td>10月中下旬&lt;今後調整&gt;</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>河北省石家荘市</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td>・河北省主催30周年記念式典への出席 ・鳥取県観光説明会、鳥取フェアの開催 ・グラウンド・ゴルフ交流大会の開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 河北省代表団の受入 (3,778千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時期</td> <td>11月中下旬&lt;今後調整&gt;</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>県内</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td>・県立博物館での記念行事、パネル展の開催 ・河北省観光団を対象としたツアーの実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 青少年交流事業（事務費対応）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時期</td> <td>夏頃（両県省の夏休みを想定）</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>岩美町、湯梨浜町、米子市（予定）</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td>河北省から青少年を招へいし、下記の交流事業を実施 ・ジオパーク学習・実験、鳥取砂丘ナイトハイク ・グラウンド・ゴルフ交流 ・米子市でのホームステイ</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○河北省とは、昭和61年に友好提携を締結して以降、90年代半ばまでは農業分野を中心に交流が行われてきた。また、5周年ごとの節目には毎回記念事業を実施してきている。</p> <p>○最近の中国からの訪日観光客の増加を受け、観光交流への発展が期待されることから、30周年を機に観光を中心とした新たな交流方針を打ち出し、観光誘客を通じて同省との人的交流をさらに推し進める。</p> <p>○また、本県発祥のグラウンド・ゴルフや、両県省の共通資源であるジオパークを活用した環境教育をテーマに、これからの両地域の交流を担う青少年交流を実施する。</p>									区分	内 容	時期	10月中下旬<今後調整>	場所	河北省石家荘市	概要	・河北省主催30周年記念式典への出席 ・鳥取県観光説明会、鳥取フェアの開催 ・グラウンド・ゴルフ交流大会の開催	区分	内 容	時期	11月中下旬<今後調整>	場所	県内	概要	・県立博物館での記念行事、パネル展の開催 ・河北省観光団を対象としたツアーの実施	区分	内 容	時期	夏頃（両県省の夏休みを想定）	場所	岩美町、湯梨浜町、米子市（予定）	概要	河北省から青少年を招へいし、下記の交流事業を実施 ・ジオパーク学習・実験、鳥取砂丘ナイトハイク ・グラウンド・ゴルフ交流 ・米子市でのホームステイ
区分	内 容																															
時期	10月中下旬<今後調整>																															
場所	河北省石家荘市																															
概要	・河北省主催30周年記念式典への出席 ・鳥取県観光説明会、鳥取フェアの開催 ・グラウンド・ゴルフ交流大会の開催																															
区分	内 容																															
時期	11月中下旬<今後調整>																															
場所	県内																															
概要	・県立博物館での記念行事、パネル展の開催 ・河北省観光団を対象としたツアーの実施																															
区分	内 容																															
時期	夏頃（両県省の夏休みを想定）																															
場所	岩美町、湯梨浜町、米子市（予定）																															
概要	河北省から青少年を招へいし、下記の交流事業を実施 ・ジオパーク学習・実験、鳥取砂丘ナイトハイク ・グラウンド・ゴルフ交流 ・米子市でのホームステイ																															

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7123）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 第二アリアンサ鳥取村入植90周年記念事業	4,379	0	4,379				4,379	
トータルコスト	5,939千円（前年度 0千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	訪問団派遣準備 等							
工程表の政策目標(指標)	ブラジルとの交流について、若い世代を中心とした交流活動の実施を通じて次代の交流を担う人材を育て、ブラジル県人会との民間交流の活性化を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要  入植90周年を迎える第二アリアンサ鳥取村との交流を一層発展させるため、第二アリアンサ日系文化体育協会が開催する式典等に参加するため、鳥取県訪問団を組み訪伯する。</p> <p>2 主な事業内容  ブラジルへの訪問団派遣  第二アリアンサ鳥取村入植90周年記念式典へ、県から訪問団（4名程度）を派遣する。</p> <p>&lt;第二アリアンサ鳥取村入植90周年記念式典の概要&gt;  ・期 日 平成28年7月23日（土）  ・場 所 第二アリアンサ鳥取村自治会館（ブラジル・サンパウロ州）  ・内 容 記念式典、県人会との意見交換 等  ・主 催 第二アリアンサ日系文化体育協会</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点  ○故郷の鳥取からブラジルに移住した県人一世と二・三・四世の県系人で組織されるブラジル鳥取県人会には、この村の出身者や関係者が多く、ブラジル鳥取県人会としても支部を設けている重要な拠点である。  ○海外移住の歴史的意義が深いこの鳥取村に、平成6年から第二アリアンサ鳥取村日本語学校へ教員派遣を行っており、現在11代目（平成26～27年度）の教諭を派遣中である。  ○過去の周年記念事業においても訪問団を派遣しており、県団の参加は村民にとっての大きな関心事となっている。</p>								
<p>【参考】第二アリアンサ鳥取村概要</p> <p>○世帯数  31世帯 約140人（うち鳥取県関係3世帯10名）</p> <p>○経 緯  1924年（大正13年）に信濃海外協会はサンパウロ州ミランドポリス郡に5,500町歩（1町歩＝1万㎡）の土地を購入して移住者を送り出した。  これに続き、鳥取県海外協会、熊本県海外協会・富山県移民協会などが相次いで隣接地に土地を購入し、サンパウロ州奥地に一大移住地が形成された。  鳥取県もサンパウロ州の奥地に3,000町歩の土地を購入して移住者を送り込んだ。  この移住地にポルトガル語で「協同・同盟」を意味する「アリアンサ」という名称をつけた。</p>								

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
1 目 企画総務費

交流推進課 (内線: 7079)  
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第21回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加事業	1,250	1,250	0				1,250	
トータルコスト	10,608千円 (前年度 10,568千円) [正職員: 1.2人]							
主な業務内容	会議参加に係る企画・立案、開催地域等との連絡調整、資料作成・通訳等							
工程表の政策目標 (指標)	第20回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット及び二地域間会談の合意事項の具現化を図るとともに、吉林省で開催される第21回サミットに向けて新たな提案事項を検討する。							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b> 本県と本県の友好交流先である韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方及びモンゴル中央県の首長が一堂に会し、各地域の共同発展、繁栄を話し合うため、中国吉林省で開催される「第21回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」に鳥取県代表団を派遣する。</p> <p><b>2 主な事業内容</b> (1) 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットへの参加 (9月上旬 (予定)・吉林省開催) (2) 実務代表者会議 (サミット事前準備会合) への参加 (5月中旬 (予定)・吉林省開催)</p> <p><b>3 これまでの取組状況、改善点</b> これまでのサミットの合意により、経済協議会、環境保護機関実務者協議会、美術作品展示会、大学教授協議会、マスコミ代表者会議が設立された。さらに、環日本海定期貨客船航路、米子ソウル便の利用促進に対する相互協力等の合意がなされるなど、各分野での相互連携の契機となっている。 地域の特徴を活かした観光発展、北東アジア地域の交通網の維持・発展等の具体的な取組を一層推進する。</p>								
多地域連携スポーツ交流事業	5,142	3,224	1,918				5,142	
トータルコスト	7,481千円 (前年度 5,554千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	関係地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、来県者への随行、通訳等							
工程表の政策目標 (指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b> 第19回及び第20回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの合意事項に基づき、友好交流地域が開催するスポーツイベントへの参加等を通じ、多地域間の青少年の交流や相互協力の拡大を図る。</p> <p><b>2 主な事業内容</b> (1) 友好交流地域が開催する国際スポーツ大会への相互派遣 (2,268千円) ・マラソンなどのスポーツ交流 (場所: 鳥取県等、時期: 秋、春頃、3名程度) (2) 3地域 (鳥取県、江原道、沿海地方) 青少年スポーツ交流事業 (2,874千円) ・バドミントン、テニスのスポーツ交流 (場所: 鳥取県、時期: 7月中旬、各16名程度)</p> <p><b>3 これまでの取組状況、改善点</b> 北東アジア地域において国際的なスポーツイベントが続くことから、スポーツを切り口とした地域振興や青少年交流に積極的に取り組んでいる。</p>								

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

## 2款 総務費

### 2項 企画費

交流推進課（内線：7079）

#### 1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
韓国交流推進事業	7,395	7,395	0				7,395	
トータルコスト	24,551千円（前年度 24,478千円）[正職員：2.2人]							
主な業務内容	韓国（江原道）との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随 行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標（指標）	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、 人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
韓国（江原道）との交流を推進するため、鳥取県及び江原道の職員の相互派遣等を通じた様々 な分野における情報交換や江陵国際青少年芸術祝典への青少年団の派遣等を行う。併せて、琴浦 町の日韓友好資料館の展示運営を支援するとともに、韓国語発表大会を開催する。								
2 主な事業内容								
内 容				時 期	予 算			
江原道職員（1名）の受入や交流協議団の相互派遣等				年間	3,587千円			
江陵国際青少年芸術祝典への青少年団（20名）の派遣				7月下旬	1,978千円			
琴浦町日韓友好資料館企画運営委員会への助成（琴浦町と同額負担）				年間	804千円			
「話してみよう韓国語」鳥取大会開催（鳥取県国際交流財団へ委託）				12月頃	1,026千円			
3 これまでの取組状況、改善点								
鳥取県と江原道間の相互理解、人的ネットワークの構築に寄与しているが、今後も良好な友好 関係を維持し、更に深化させていく必要がある。								
中国交流推進事業	1,390	2,565	△1,175				1,390	
トータルコスト	9,188千円（前年度 8,777千円）[正職員：1.0人]							
主な業務内容	中国（吉林省）との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随 行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標（指標）	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、 人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
吉林省との交流を強化するため、吉林省内の大学生を鳥取県内に受け入れ、日本語の学習、文 化体験、県内学生との交流事業を実施する。								
2 主な事業内容								
内 容				時 期	人 数	予 算		
吉林省青少年交流事業＜受入れ＞				8月頃	10名程度	1,390千円		
3 これまでの取組状況、改善点								
吉林省とは1994年に友好交流の覚書を交わして以来、人的交流と経済交流を核とした交流を進 めており、今後は特に次代の交流を担う人材育成に取り組む必要がある。								
※河北省については、友好提携30周年を迎えるため、別事業において実施								

平成28年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7079)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ロシア極東地域交流推進事業	4,599	3,965	634				4,599	
トータルコスト	19,415千円 (前年度 20,272千円) [正職員: 1.9人]							
主な業務内容	ロシア極東地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標 (指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
ロシア極東地域における本県の認知度を高め、友好交流関係を発展させるため、「青少年交流」、「交流地域での鳥取県PR」、「県民向けのロシア紹介」を柱とする取組を実施する。								
2 主な事業内容								
(1) 青少年交流 (2,500千円)								
内 容				時 期	人 数			
鳥取県環境交流団のロシア沿海地方訪問				7月頃	10名程度			
鳥取県青少年柔道交流団の沿海地方訪問				8月頃	15名程度			
ロシア極東地域囲碁交流団の鳥取県訪問				10月頃	10名程度			
ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県訪問				11月頃	8名程度			
(2) 交流地域での鳥取県PR (1,499千円)								
第7回鳥取県文化デイズ (時期: 3月頃、場所: ハバロフスク地方ハバロフスク市)								
(3) 県民向けのロシア紹介 (600千円)								
国際交流員によるロシア講座 (ロシアの歴史・文化等の紹介、ロシア料理・手芸体験等)								
3 これまでの取組状況、改善点								
ロシア極東地域において様々な分野の交流事業等を実施したことにより、鳥取県の認知度は高くなっており、この状態を維持・発展しつつ、更なる関係強化が必要である。								
モンゴル中央県交流推進事業	4,478	4,838	△360				4,478	
トータルコスト	10,716千円 (前年度 11,050千円) [正職員: 0.8人]							
主な業務内容	モンゴル (中央県) との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標 (指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
モンゴル中央県との協力関係を発展させるため、医療専門家の派遣、農業技術研修員の受入れを行う。また、平成26年度に創設した奨学金制度により、中央県出身者の県内大学への留学を支援するとともに、新たに日本語の履修を始めたフムーン総合学校の生徒の受入れを実施する。								
2 主な事業内容								
内 容				時 期	人 数		予 算	
(新) フムーン総合学校日本語履修生の受入れ事業				6月頃	5名程度		511千円	
医療専門家派遣				9月頃	4名程度		1,136千円	
農業研修員受入れ				10月頃	1名		382千円	
行政実務研修生受入れ				12月頃	3名		460千円	
中央県からの留学生への奨学金				-	1名		1,940千円	
事務費				-	-		49千円	
合 計							4,478千円	
3 これまでの取組状況、改善点								
モンゴル中央県とは平成9年に友好交流の覚書に調印し、鳥取県モンゴル中央県親善協会等の民間団体や医療機関と協力しながら、青少年、農業、医療分野などの交流を深めてきた。平成28年度は、新たにモンゴル中央県の日本語を履修している高校生を受け入れ、交流事業を実施する。								



## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

### 2款 総務費

#### 2項 企画費

交流推進課（内線：7079）

#### 1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																									
台湾交流推進事業	5,686	3,846	1,840				5,686																									
トータルコスト	12,704千円（前年度 18,600千円）〔正職員：0.9人〕																															
主な業務内容	台湾との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等																															
工程表の政策目標（指標）	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。																															
事業内容の説明																																
<b>1 事業の目的・概要</b> 台湾台中市との交流を促進するため、中学生サマースクール団及び芸能団の派遣を行う。また台湾で日本語を履修する大学生を対象に、県内宿泊施設での職場体験を実施する。さらに、両県市の共通資源である温泉交流を検討するため、同市から温泉関係者を受け入れる。																																
<b>2 主な事業内容</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">内 容</th> <th style="width: 10%;">時 期</th> <th style="width: 10%;">人 数</th> <th style="width: 20%;">予 算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外大学生インターンシップ受入れ</td> <td style="text-align: center;">7月頃</td> <td style="text-align: center;">30名程度</td> <td style="text-align: center;">996千円</td> </tr> <tr> <td>台中市サマースクール団派遣（隔年相互派遣）</td> <td style="text-align: center;">8月頃</td> <td style="text-align: center;">10名程度</td> <td style="text-align: center;">900千円</td> </tr> <tr> <td>台中市への芸能団派遣（ランタンフェスティバル公演）</td> <td style="text-align: center;">2月頃</td> <td style="text-align: center;">12名程度</td> <td style="text-align: center;">1,490千円</td> </tr> <tr> <td>台中市温泉交流訪問団の受入れほか</td> <td style="text-align: center;">7月頃</td> <td style="text-align: center;">10名程度</td> <td style="text-align: center;">1,000千円</td> </tr> <tr> <td>台中市への交流協議団派遣ほか</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">1,300千円</td> </tr> </tbody> </table>									内 容	時 期	人 数	予 算	海外大学生インターンシップ受入れ	7月頃	30名程度	996千円	台中市サマースクール団派遣（隔年相互派遣）	8月頃	10名程度	900千円	台中市への芸能団派遣（ランタンフェスティバル公演）	2月頃	12名程度	1,490千円	台中市温泉交流訪問団の受入れほか	7月頃	10名程度	1,000千円	台中市への交流協議団派遣ほか	—	—	1,300千円
内 容	時 期	人 数	予 算																													
海外大学生インターンシップ受入れ	7月頃	30名程度	996千円																													
台中市サマースクール団派遣（隔年相互派遣）	8月頃	10名程度	900千円																													
台中市への芸能団派遣（ランタンフェスティバル公演）	2月頃	12名程度	1,490千円																													
台中市温泉交流訪問団の受入れほか	7月頃	10名程度	1,000千円																													
台中市への交流協議団派遣ほか	—	—	1,300千円																													
<b>3 これまでの取組状況、改善点</b> 梨穂木の取引を縁に始まった台中県との交流は、台中市となった以降も芸能団派遣や青少年の相互派遣が継続して実施され、本県の知名度向上と相互理解の深化に繋がっている。今後は同市とのこれまでの交流実績を基盤として、台湾からの観光客誘致等、本県にもメリットのある事業へと繋げていく必要がある。																																
ブラジル交流促進事業	12,801	12,641	160				12,801																									
トータルコスト	24,498千円（前年度 24,289千円）〔正職員：1.5人〕																															
主な業務内容	研修員・留学生受入に係る連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務、ブラジルにおける日本語指導・地域での交流活動、日本語指導員の派遣等																															
工程表の政策目標（指標）	ブラジルとの交流について、若い世代を中心とした交流活動の実施を通じて次代の交流を担う人材を育て、ブラジル県人会との民間交流の活性化を図る。																															
事業内容の説明																																
<b>1 事業の目的・概要</b> 母県とブラジル鳥取県人会との今後の交流の継続・発展並びに更なる民間交流の促進を図るため、各種の交流事業を実施する。																																
<b>2 主な事業内容</b> (1) 技術研修員・留学生受入事業（8,249千円） ブラジルに在住する鳥取県出身者の子弟に対し、本県における技術研修、修学の間を設け、交流を推進するとともに、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。（研修員1名、留学生1名） (2) 中堅リーダー交流（派遣）、日本語指導員派遣事業（4,552千円） ・ブラジルへ中堅リーダーを派遣し、民間主体による自立した交流の活性化を図る（2名）。 ・第二アリアンサ鳥取村へ日本語指導員（教員1名）を派遣し、ブラジルとの交流推進を図る。																																
<b>3 これまでの取組状況、改善点</b> ○留学生・研修生には専門的な知識・技術を学ぶことはもとより、日本語・日本文化を学ぶ機会にもなっており、帰国後のブラジル移住者の地位向上に貢献している。 ○各事業とも世代交代が進む県人会の活動を活性化させるものとして、関係者からの評価も高い。																																

# 平成28年度一般会計当初予算説明資料

## 2款 総務費

### 2項 企画費

交流推進課（内線：7079）

#### 1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自治体職員協力交流事業	7,253	7,253	0				7,253	
トータルコスト	8,813千円（前年度 8,806千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	研修機関等との連絡調整、委託契約事務等							
工程表の政策目標（指標）	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県の友好交流先との関係を強化するため、中国・吉林省、ジャマイカ・ウェストモアランド県の職員を研修員として受け入れる。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 受入人数：2名（予定：中国・吉林省1名、ジャマイカ・ウェストモアランド県1名）</p> <p>(2) 受入時期：5月下旬に来日し、全国市町村国際文化研修所で約1ヶ月の日本語研修。 その後、6月下旬に来県してから翌年3月中旬の帰国まで、県庁等で専門研修。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○平成8年から受け入れを開始し、中国吉林省、韓国江原道からの研修員を中心に現在までに計30名を受け入れている。（内訳：吉林省16名、江原道10名、その他4名）</p> <p>○研修員は、帰国後も本県と派遣元地域との交流を継続し、深めていくうえで欠かせない人材となっている。</p>								
国際交流員等活用事業	76,646	72,008	4,638			(雑入) 290	76,356	
トータルコスト	82,105千円（前年度：77,444千円）[正職員：0.7人、非常勤職員：15.0人]							
主な業務内容	国際交流員の雇用、民間国際交流事業への派遣、研修の企画実施等							
工程表の政策目標（指標）	多文化共生社会の実現に向けて、地域の国際理解の推進等に取り組む。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>JETプログラム（外国青年招致事業）によって招致する国際交流員及び県独自の採用による国際交流員を配置し、地域レベルの国際交流の進展を図り、もって地域の国際化を促進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 15名の国際交流員を配置し、交流地域との間の交流事業において通訳、翻訳、連絡調整等を行うとともに、小学校、公民館等の要請を受けて国際理解講座等を実施し、地域住民の国際理解の推進を図る。</p> <p>(2) 県内に配置された国際交流員、外国語指導助手を対象に、県主催で新規来日者説明会、中間研修、通訳・翻訳研修（国際交流員のみ対象）などの研修を実施し、参加者の能力向上や業務の円滑化を図る。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>中国人観光客の急増など、広東語の業務が一層増大することが見込まれる状況に十分対応する体制を整えるため、中国（広東語圏）国際交流員を1名増員する。</p> <p>〈国際交流員の地域別内訳〉</p> <p>韓国5名、中国3名（1名増）、ロシア2名、モンゴル1名、英語圏2名、台湾2名 計15名（1名増）</p>								

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

### 2款 総務費

#### 2項 企画費

交流推進課（内線：7123）

#### 1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県国際交流財団助成事業	50,328	50,125	203				50,328	
トータルコスト	55,007千円（前年度 54,784千円）[正職員：0.6人]							
主な業務内容	補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標(指標)	多文化共生社会の実現に向けて、県内に居住する在任外国人をサポートする県国際交流財団の活動を支援する。							
事業内容の説明								
<b>1 事業の目的・概要</b> 本県における国際交流推進の基盤づくりと国際交流活動の支援を行うため、公益財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。								
<b>2 主な事業内容</b> (1) 公益財団法人鳥取県国際交流財団への助成 (49,528千円) (補助率1/2 (一部10/10))								
事業名	補助額	内 容						
① 多言語情報発信事業	1,218千円	ホームページ運営・メールマガジン配信等						
② コミュニケーション支援事業	6,406千円	日本語クラスの運営、専門通訳派遣、在任外国人の生活支援等						
③ 人材の育成事業	410千円	専門通訳ボランティア等人材のスキルアップ支援等						
④ ボランティア活動の推進と活性化事業	84千円	ホームステイ受入れ支援等						
⑤ 県民の国際理解推進事業	10,215千円	在任外国人と地域住民の相互交流促進等						
⑥ 私費留学生奨学金の支給	3,632千円	私費留学生への奨学金支給						
⑦ 事務所費、運営費	27,563千円	事務所運営、職員人件費等経費						
【主な改正内容】人材の育成事業：専門通訳ボランティアによる自発的活動事業の回数を増加 等								
(2) 事務費 (800千円)								
<b>3 これまでの取組状況、改善点</b> 在任外国人及び県民の国際交流等を支援するため、鳥取県国際交流財団とともに多文化共生における人材育成の取組等を強化している。								
国内交流推進事業	3,905	3,905	0				3,905	
トータルコスト	7,024千円（前年度 3,905千円）[正職員：0.4人]							
主な業務内容	市町村等が実施する国内交流事業等への人的支援や助言、補助金業務							
工程表の政策目標(指標)	市町村と連携した国内交流の推進等を図る。							
事業内容の説明								
<b>1 事業の目的・概要</b> 交流人口の増加及び地域の活性化を図るため、全国各地の鳥取県とゆかりのある地域等と県内の市町村や民間団体との交流を推進する。								
<b>2 主な事業内容</b> 国内交流トライアル補助金 3,500千円（最大2年間支援可能）								
対象事業	市町村や民間団体が新たに行う国内交流事業（既存の交流分野の拡大を含む）							
事業実施主体	県内市町村（複数市町村による連携含む）及び民間団体							
補助率	1/2（上限額500千円）							
補助対象経費	事業を実施するため必要な経費（旅費、謝金、委託料、使用料等）							
<b>3 これまでの取組状況、改善点</b> ○国内交流トライアル補助金による新規の国内交流の支援により、市町村等での新たな交流の動きもあり、引き続き、市町村等と連携した国内交流支援の強化を図る。 ○平成27年度は4団体を支援した。								

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

### 2款 総務費

#### 2項 企画費

交流推進課（内線：7123）

#### 1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
交流ネットワーク活用事業	17,546	17,511	35			(収支事業収入) 6,000	11,546	
トータルコスト	27,683千円（前年度 21,394千円）〔正職員：1.3人、非常勤職員：1.0人〕							
主な業務内容	海外へ向けた情報提供業務の委託、東南アジアとの交流、国内、海外県人会との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	タイを中心とした東南アジアとのネットワーク構築等を進める。							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b> 鳥取県とゆかりのある交流組織等を活用し、鳥取県情報の発信を行い、交流の活発化を図る。</p> <p><b>2 主な事業内容</b>                      (1) 世界とっとりファンクラブ会員等への情報提供等委託（1,000千円）：会員（国際交流員等で県内に滞在した外国人）へ鳥取県の情報を提供し、鳥取県をPRする。                      (2) 鳥取県タイ王国スマイルサポーター育成事業（1,380千円）：タイの大学生等を招致し、県内大学生との交流、県内産業の視察等を行い、鳥取県のサポーターを育成する。                      (3) 県外県人会等との協働による情報発信（561千円）：県人会の催事に参加し、活動支援を行う。                      (4) (一財)自治体国際化協会の分担金（6,000千円）：海外共同事務所運営費用等に係る分担金を負担する。                      (5) 海外県人会助成事業（1,035千円）（補助率10/10）：海外の3つの県人会の活動に助成する。                      (6) 青少年国際協力支援事業（720千円）（補助率10/10）：青年海外協力隊鳥取県OV会が開催する帰国報告会の開催等に助成を行う。                      (7) 事務費（6,850千円）</p> <p><b>3 これまでの取組状況、改善点</b> 各県人会総会へ出席し、鳥取県の情報発信を行い、ふるさと納税などへの協力を依頼している。また、県人会、ファンクラブ各会員、タイ王国スマイルサポーターには口コミやSNS等で鳥取県情報を広くPRしていただいている。</p>								
鳥取県国際関係調整費	17,276	18,359	△1,083				17,276	
トータルコスト	32,872千円（前年度 33,889千円）〔正職員：2.0人〕							
主な業務内容	各国からの訪問に係る関係機関・関係部署等との連絡調整、受入資料の作成、訪問団等の受入、課内外の業務の連絡調整、課内業務の総括等							
工程表の政策目標(指標)	—							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b> 北東アジア地域等への各種訪問団派遣及び各国からの各種訪問団の受入等に機動的に対応するための事務的経費である。</p> <p><b>2 これまでの取組状況、改善点</b> 予算計上のない臨時的な交流事業に対しても、迅速かつ機動的に対応することができ、友好交流地域との更なる友好増進に寄与している。</p>								

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7123）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
パスポート発給事務費	30,201	30,201	0			(手数料) 23,000	7,201	
トータルコスト	44,237千円（前年度 44,178千円）[正職員：1.8人]							
主な業務内容	旅券に係る申請受付・審査・作成及び交付等							
工程表の政策目標(指標)	円滑な旅券発給と窓口対応の向上、各種情報（渡航情報等）のタイムリーな提供を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 旅券法に基づく法定受託事務である旅券の申請受理、作成及び交付に関する事務を、一部民間に委託して実施する。</p> <p>2 主な事業内容 県庁・中部総合事務所・西部総合事務所及び権限移譲をしている倉吉市役所・境港市役所・日南町役場・日野町役場・江府町役場の8箇所に窓口を設け、県民からの一般旅券申請の受理、審査、作成及び交付を行う。 ○委託業務の概要（28,701千円） ①委託対象業務 ・電話案内、申請・交付窓口業務（県庁・中部総合事務所・西部総合事務所） ・旅券作成業務（全窓口分） ②委託期間：平成25年4月1日から5年間（平成25～29年度） ※参考：委託対象外業務 旅券作成の最終審査業務及び慎重かつ迅速かつ適正な対応が特に必要とされる高度な業務（判断困難事案、緊急発給事案、不正取得防止対応）等 ○事務費（1,500千円）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 窓口従事者の研修等により住民利便の向上を図った。</p>								

2款 総務費

2項 企画費

観光戦略課（内線：7639）→事業実施：交流推進課

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	127,314	170,728	△43,414				127,314	
事業内容の説明								
一般職員18名分の人件費								

平成28年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
 2項 企画費  
 1目 企画総務費

交流推進課（内線：7123）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支 出金	起債	その他	一般財源	
(廃止)ブラジル県人会館設立20周年記念事業	0	6,024	△6,024					
トータルコスト	0千円（前年度 8,354千円）							
事業内容の説明								
(廃止)平成27年度単年度事業として実施したため。								
(廃止)第21回環日本海拠点都市会議開催支援事業	0	3,215	△3,215					
トータルコスト	0千円（前年度 3,992千円）							
事業内容の説明								
(廃止)平成27年度単年度事業として実施したため。								

## 平成28年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国発ソフト パワー事業	106,914	209,438	△102,524			(雑入) 20	106,894	
トータルコスト	145,904千円(前年度 256,028千円) [正職員:5.0人、非常勤職員2.0人]							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施、市町村・民間との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	まんがを活かして国内外に情報発信する。 まんがを活かして国内外から誘客を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
鳥取県の強みの一つであるまんがを活用した「まんが王国とっとり」の取組みを推進し、国内外に情報発信することで観光誘客につなげ、地域振興に資する。								
2 主な事業内容								
項 目	予算額	内 容						
国際マンガコンテスト の開催	10,000	本県発の国際マンガコンテストを継続開催し、新たな人材の発掘・育成を行うとともに、まんが王国ととりを世界に発信する。 (1) 部門 1コマ漫画、4コマ漫画、ストーリー漫画 (2) 賞 最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞、U-15賞 (3) スケジュール ・公募 (H28.4~9) ・入賞者発表 (H28.12) ・表彰式・作品集発行 (H29.2)						
全日本声優コンテスト 「声優魂」鳥取大会の 開催	3,600	声優をめざす中高校生が夢を実現する機会として、全国規模のコンテストの地方大会を実施する。 ・予選:7月、本選:8月						
フランス・ジャパンエキ スポへの出展	6,800	ヨーロッパで知名度の高い谷ロジロー氏を中心に、まんが王国ととりをフランス・ジャパンエキスポでPRする。 ・日程 7月7日~10日						
超広域スタンプラリー の実施	1,000	鳥取県とソウル市双方のまんが関連施設を巡る超広域スタンプラリーを実施し、観光交流を促進する。 ・鳥取県:水木しげるロード、青山剛昌ふるさと館ほか ・ソウル:チェミロほか ※両県市でマンガを活かした業務連携協定締結(H27.5)						
海外プロモーション	2,000	ソウル特別市との連携、旅行博への出展等を行う。						
高知県との連携	2,500	ニコニコ超会議等首都圏での共同PRや、両県のイベントへの相互出展を行う。						
まんが王国とっとりブ ロデュース会議	381	外部専門家による会議を開催する。						

まんが王国活動支援補助金	39,000	市町村・民間団体が取組むまんがを活用した事業を支援する。 ○地域拠点形成事業 21,000千円 補助率 1/2 限度額 7,000千円 採択団体数 3 ○まんがを活用した地域活性化事業 18,000千円 <特定事業> 第六次米子映画事業 限度額 12,000千円 <公募事業> 補助率 1/2 限度額 1,000千円 採択団体数 6
空港アプリ運営経費	562	空港に設置した記念撮影用AR(拡張現実)アプリの運営
情報発信	25,857	・「まんが王国とっとり通信」の発行 A3判・年4回・11,800部 ・著作物使用料 ・着ぐるみPR活動 ・情報発信 ・国際マンガサミット事務局との連携
非常勤職員人件費	5,022	非常勤職員2名
事務費	10,192	事務用品購入、通信運搬等に要する経費
合計	106,914	

### 3 これまでの取組状況、改善点

これまで幅広く実施してきたまんが王国推進の取組を見直し、観光振興、情報発信に効果の高い事業に重点化していく。

また、市町村や民間団体によるまんがを活かした取組を奨励・推進する補助制度について、事業主体の自立を促すよう補助金の上限額を引き下げるとともに、事業の遂行能力や新規性が担保されるよう要綱を改める。

(廃止) まんが王国 海外インバウンド促 進事業	0	30,000	△30,000					
トータルコスト	0千円 (前年度 33,106千円)							
事業内容の説明								
(廃止) 事業完了による。								
(廃止) 空の駅魅力 向上事業	0	54,000	△54,000					
トータルコスト	0千円 (前年度 54,000千円)							
事業内容の説明								
(廃止) 事業完了による。								



平成28年度当初予算歳入歳出事項別明細書(観光交流局)

(単位:千円)

節	款 項 目	2款 総務費					7款 商工費			
		うち観光交流局					うち観光交流局			
			2項 企画費	1目 企画総務費	2目 計画調査費	3目 交通対策費	1項 商業費			
1	報 酬	540,986	58,344	58,344	58,344			97,226	15,594	
2	給 料	2,917,486	67,482	67,482	67,482			453,629	123,717	
3	職員手当等	4,480,023	34,740	34,740	34,740			233,530	63,690	
4	共 済 費	1,159,905	34,535	34,535	34,535			213,219	48,467	
5	災 害 補 償 費	500								
6	恩給及び退職年金	20,848								
7	賃 金	36,107								
8	報 償 費	275,238	1,906	1,906	1,906			688,845	3,914	
9	旅 費	245,932	51,762	51,762	51,712		50	83,098	32,358	
	費用弁償	29,291	6,980	6,980	6,980			18,121	3,940	
	普通旅費	164,106	21,555	21,555	21,555			51,373	24,053	
	特別旅費	52,535	23,227	23,227	23,177		50	13,604	4,365	
10	交 際 費	3,600								
11	需 用 費	567,117	14,083	14,083	14,083			62,329	29,934	
	食 糧 費	30,259	8,228	8,228	8,228			12,058	3,921	
	その他の需用費	536,858	5,855	5,855	5,855			50,271	26,013	
12	役 務 費	547,332	8,395	8,395	8,395			50,860	15,881	
13	委 託 料	5,153,053	209,091	209,091	55,605	113,286	40,200	575,634	214,125	
14	使用料及び賃借料	679,370	22,539	22,539	22,539			155,692	37,240	
15	工 事 請 負 費	2,359,459						9,419	2,419	
16	原 材 料 費									
17	公有財産購入費									
18	備 品 購 入 費	141,271	3,165	3,165	400	2,765		10,302	600	
19	負担金、補助及び交付金	8,018,430	152,707	152,707	65,004		87,703	9,978,460	440,515	
20	扶 助 費									
21	貸 付 金							575,057	18,445	18,445
22	補償、補填及び賠償金	2,000								
23	償還金、利子及び割引料	170,200						332,492		
24	投資及び出資金							1,500		
25	積 立 金	3,130,311								
26	寄 付 金									
27	公 課 費	361						35		
28	繰 出 金							9,048		
	予 備 費									
	計	30,449,529	658,749	658,749	414,745	116,051	127,953	13,530,375	1,046,899	18,445
財	国庫支出金	2,151,426						13,271	1,920	
源	地 方 債	3,028,000								
内	そ の 他	4,012,222	55,156	55,156	55,156			977,050	58,256	18,445
訳	一 般 財 源	21,257,881	603,593	603,593	359,589	116,051	127,953	12,540,054	986,723	

平成28年度当初予算歳入歳出事項別明細書(観光交流局)

(単位:千円)

節	款 項 目	7款 商工費		観光交流局 合 計	
		うち観光交流局			
		1項 商業費	3項 観光費		
		3目 金融対策費	1目 観光費		
1	報 酬		15,594	15,594	73,938
2	給 料		123,717	123,717	191,199
3	職員手当等		63,690	63,690	98,430
4	共 済 費		48,467	48,467	83,002
5	災 害 補 償 費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃 金				
8	報 償 費		3,914	3,914	5,820
9	旅 費		32,358	32,358	84,120
	費用弁償		3,940	3,940	10,920
	普通旅費		24,053	24,053	45,608
	特別旅費		4,365	4,365	27,592
10	交 際 費				
11	需 用 費		29,934	29,934	44,017
	食 糧 費		3,921	3,921	12,149
	その他の需用費		26,013	26,013	31,868
12	役 務 費		15,881	15,881	24,276
13	委 託 料		214,125	214,125	423,216
14	使用料及び賃借料		37,240	37,240	59,779
15	工 事 請 負 費		2,419	2,419	2,419
16	原 材 料 費				
17	公有財産購入費				
18	備 品 購 入 費		600	600	3,765
19	負担金、補助及び交付金		440,515	440,515	593,222
20	扶 助 費				
21	貸 付 金	18,445			18,445
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金、利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積 立 金				
26	寄 付 金				
27	公 課 費				
28	繰 出 金				
	予 備 費				
	計	18,445	1,028,454	1,028,454	1,705,648
財 源 内 訳	国庫支出金		1,920	1,920	1,920
	地方債				
	そ の 他	18,445	39,811	39,811	113,412
	一 般 財 源		986,723	986,723	1,590,316

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
2 款	総務費	
2 項	企画費	
1 目	企画総務費	
給料	一般職員	18人
報酬	国際交流員	15人
負担金、補助 及び交付金	日韓友好資料館企画運営委員会負担金	500
	モンゴル農業研修員生活支援補助金	224
	モンゴル留学生支援補助金	1,940
	自治体国際化協会負担金	1,488
	海外旅行傷害保険負担金	104
	鳥取県国際交流財団事業費補助金	49,528
	国際交流拠点整備費負担金	6,000
	海外県人会活動支援補助金	1,000
	青年海外協力隊帰国報告会開催支援補助金	400
	青年海外協力隊普及広報活動支援補助金	320
	国内交流トライアル補助金	3,500
3 目	交通対策費	
負担金、補助 及び交付金	「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援補助金	6,500
	米子-ソウル国際定期便に係る運航経費補助金	71,203
	国際定期航路利用促進委員会 (仮称) 負担金	10,000
7 款	商工費	
1 項	商業費	
3 目	金融対策費	
貸付金	観光開発促進資金貸付金	18,445
3 項	観光費	
1 目	観光費	
給料	一般職員	33人
報酬	国際マンガコンテスト審査員	10人
	鳥取県立大山駐車場指定管理施設運営評価委員	5人
	非常勤職員	8人
負担金、補助 及び交付金	三徳山重要遺跡発掘調査補助金	900
	文化資産学習会開催助成支援補助金	400
	(公社) 日本観光振興協会負担金	718
	(公社) 日本観光振興協会全国広域観光振興事業負担金	700
	(公社) 日本観光振興協会中国支部負担金	120
	(公社) 日本観光振興協会観光情報システム分担金	200
	中国地域観光推進協議会負担金	50
	山陰観光連盟負担金	324
	(一社) 日本スポーツツーリズム推進機構負担金	50
	フィルムコミッション業務補助金	4,300
	とっとりコンベンションビューロー運営費交付金	27,402
	コンベンション開催助成費補助金	26,850
	(公社) 鳥取県観光連盟運営費負担金	93,290
	番組・記事制作負担金	2,400
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金 (バス旅行商品支援)	20,000
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金 (旅行商品造成支援)	15,000
	「山陰大周遊」宿泊促進WEB対策事業補助金	25,000
	温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト支援事業補助金	5,190
	温泉地魅力向上事業負担金 (いなば温泉郷協議会)	1,310
	温泉地魅力向上事業負担金 (皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会)	6,000

節 の 明 細

項 目	金額 (千円) 等
7 款 商工費	
3 項 観光費	
1 目 観光費	
負担金、補助 及び交付金	
因幡・但馬・丹後広域観光協議会負担金	500
鳥取・岡山広域観光協議会負担金	2,000
「ディスカバーウェスト」連携協議会負担金	5,000
鳥取自動車道活性化協議会負担金	900
NEXCO西日本連携キャンペーン負担金	420
鳥取まるごとニューツーリズム支援補助金	6,500
教育旅行誘致推進事業補助金	3,000
着地型観光・体験情報発信事業補助金	3,132
鳥取県外国人観光客倍増促進補助金	15,000
クルーズ客船受入推進事業補助金	600
周遊バス運行支援補助金	3,770
観光二次交通整備支援補助金	19,236
県内発着の周遊タクシー等運行支援補助金	11,275
周遊バス運行支援補助金 (ボンネットバス運行支援等)	2,561
鳥取県外国人観光客倍増促進補助金 (外国人観光客誘客プロモーション)	3,400
鳥取県外国人観光客送客促進事業補助金	4,920
鳥取県外国人観光客誘致対策事業補助金	15,000
中国地区広域観光検討部会負担金	2,500
中国地方インバウンドフォーラム負担金	1,000
京都・兵庫・鳥取三府県広域観光交流圏推進実行委員会負担金	1,000
関西国際空港内広域観光案内推進協議会負担金	800
国際観光振興機構負担金	680
東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,300
国際定期航路利用促進協議会 (仮称) 負担金	1,100
山陰観光推進機構 (仮称) 設立・運営事業負担金	12,500
ジャパンエコトラック推進事業補助金	1,000
エコトラック推進協議会負担金	500
とっとりの新たな旅づくり事業補助金	5,240
鳥取県まんが王国支援補助金	39,000
マンガサミット運営本部負担金	100
鳥取中部圏域広域観光連携推進事業補助金	15,000
ワールドトレイルズカンファレンス鳥取大会実行委員会負担金	15,684
SUN-IN未来ウォーク開催支援事業補助金	1,000
韓国人ウォーカー誘客促進事業補助金	1,000
ワールドトレイルズカンファレンス誘致促進事業補助金	800
櫻杯争奪相撲選手権大会支援事業補助金	400
大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500
湯ったりだいせん足湯整備費補助金	193
エコツーリズム推進事業補助金	2,800
全日本トライアスロン皆生大会開催支援補助金	5,000
皆生・大山SEA TO SUMMIT開催支援補助金	1,000
アウトドアスポーツフェスタ開催支援補助金	500
中海オープンウォータースイム開催支援補助金	750
日野郡ニューツーリズム推進事業補助金	750

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は  
支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事 項	限 度 額 千円	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左の財源内訳				一般財源 千円
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	国庫支出金 千円	特 定 財 源		其 他 千円	
							地方債 千円	その他		
平成22年度 足湯整備費補助	2,025	平成23年度から 平成27年度まで	965	平成28年度から 平成31年度まで	772					772
平成24年度 パスポート発給業務委託	140,000	平成25年度から 平成27年度まで	83,710	平成28年度から 平成29年度まで	56,290			(手数料) 50,000		6,290
平成25年度 パスポート発給業務委託	3,192	平成26年度から 平成27年度まで	1,595	平成28年度から 平成29年度まで	1,597					1,597
平成26年度 鳥取県立夢みさとタワー管理委託	592,145	平成26年度から 平成27年度まで	226,572	平成28年度から 平成30年度まで	339,858					339,858
平成26年度 多言語観光基本情報ホームページ 管理委託	2,000	平成27年度	800	平成28年度から 平成29年度まで	1,200					1,200
平成27年度 米子ソウル国際定期便運行経 費補助	142,406			平成28年度から 平成29年度まで	142,406					142,406

